

第五十回帝國議會
衆議院

漁業財團抵當法案(政府提出)外三件

登記法中改正法律案(政府提出)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)
行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等
ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十四年三月十三日(金曜日)午前十一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 吉原 義雄君

理事 中村 清造君

一柳 仲次郎君 山本 勝次君

中村 嘉壽君 渡邊 伍君

高草 美代藏君

同月十一日委員澤田利吉君千葉宮次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ一柳仲次郎君青山憲三君ヲ就レモ議長ニ於テ選定セリ

出席委員左ノ如シ

大藏政務次官 早速 整爾君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

農商務參與官 堀切善兵衛君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

村上紋四郎君 成田 榮信君

小池 仁郎君

農商務書記官 大濱喜一郎君

大藏書記官 青木 得三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

漁業財團抵當法案(政府提出)

登錄稅法中改正法律案(政府提出)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ

關スル法律案(政府提出)

○吉原委員長 ソレデハハヨリ開會致シマス

○堀切政府委員 前回中村君ヨリ御質問ノアリマシタ件デ、政府ガ調査ノ上御答申スコトヲ御約束申上ゲタ事ヲ大體御答申上ゲマス、東京市ニ於ケル鮮魚、鹽干魚ヲ取扱フテ居リマス市場ハ、築地魚市場、四日市鹽干魚市場ノ此二市場デアリマス、築地魚市場ニ這入リマス數量ハ鮮魚鹽干魚共ニ一日平均五百二十一噸デアリマシテ、一箇年合計致シマスルト云フト十八萬七千五百八十八噸、斯ウ云フコトニナリマス、賣上高ハ五千七百萬圓、其内鮮魚ガ三千九百九十萬圓、鹽干魚ガ千七百十萬圓、四日市ノ鹽干魚ノ取扱高ハ三千萬圓、ソレカラ金融ノ關係ハ詳細ノコトハ到底分リ兼ねルノデアリマス、先ヅ此市場問屋ト漁業者トノ關係ヲ申上ゲマスレバ、市場問屋ハ五六軒ノ問屋ヨリ共同シテ漁業者ニ對シテ漁業資金ヲ融通致シテ居リマス、斯ウ云フ問屋ガ約三十名バカリアリマス、一名年々約一萬圓位投資致シマシテ、全體トシマシテ三十萬圓バカリノ資金ヲ漁業者ニ投資致シテ居リマス、投資ノ目的ハ魚荷ヲ市場ニ多ク引付ケル爲デアリマスケレドモ、内面ハ問屋自身ガ利益ヲ見越シテノ

思惑デ、投機的事業デアリマス、資金融通ノ擔保物件トシテハアリマセマノデ、多年經驗ノ結果漁業權ヲ入札ニ依リテ獲得セル確實信用アル漁業者ニ對シテ融通致シテ居リマス、即チ信用貸デアリマス、貸金ノ利子ハ無利子デアリマス、回收方法トシテハ漁獲高ノ三分ノ二ヲ問屋ニ委託セシムル條件ヲ附シテ居リマス、仕切代金中ヨリ二割五分乃至三割ヲ差引イテ返納セシムル習慣ニナツテ居リマス、返還期日トシテハ漁場ノ大漁不漁ニ依ッテ違フテ居リマシテ、一定ノ期間ガゴザイマセヌ、豐漁ナル時ハ直ニ返還サル、モ、不漁ノ場合ハ二年三年ト延期サル、次第デアリマス、ソレカラ資金ノ投資ヲ爲ス問屋ハ、總テ資力ノアル者デアリマシテ、危險ヲ冒シテマデ銀行ヨリ資金ヲ借り受ケルト云フコトハ、此三十名ノ今申上ゲマシタ問屋ニハナイノデアリマス、即チ自分ノ遊金ヲ以テ之ヲ融通致シテ居ル次第デアリマス、全體築地ノ魚市場ノ問屋ハ七百五十名アリマシテ、仲買人ハ五百五十名ト云フヤウナコトデ、問屋ハ荷主ヨリ委託手数料トシテ賣上高ノ七分ヲ徵收シ、仕切ハ現金或ハ銀行爲替ヲ以テ即日ニ支拂フ、主トシテ安田、古河、第百十三、中井、金原、第一銀行ト取引關係ヲ結ンデ居ルヤウデアリ

マス、ソレカラハ是ハ今ノ三十名許リノ自分ノ資金デ、漁業者ニ資金ヲ融通シテ居ル關係ヲ申シタノデアリマスガ、全體トシテ問屋ハドレ程ノ金融ヲ得テ居ルカト申シマス、至テハ少イ、約四百萬圓許リデアリマス、此中ノ四分ノ三、三百萬圓或ハソレ以上位ノモノハ、全ク個人ノ金融業者カラ融通ヲ得テ居リマス、銀行ヨリ融通ヲ得テ居ルノハ、是等ノ問屋ノ預金ノ當座貸越位ノ所デ、至テ少イ、而シテ個人ノ金融業者ノ利子ハ中々高イノデアリマス、普通ハ日歩七八錢、高イノハ二十五錢ト云フノガアルサウデアリマス、日歩七八錢ト申シマス、一寸私ノ持ッテ居リマス手帳ハ、銀行デ出シタ手帳デアリマスガ、殆ド斯ウ云フ帳面ニ載ッテ居ナイ程ノ高イ利子ノモノデアルト云フコトデアリマス、東京ノ町ノ中央デモ、斯ウ云フ高イ個人ノ金ヲ利用致サナケレバナラヌヤウナ狀況デアリマスカラ、之ガ地方ナドニ參ルト、殊ニ北海道アタリニナリマス、漁業者ハ随分高イ金利ノ金ヲ使フ、最モ普通ノ所謂極マタ契約ノ利子ダケヲ支拂フナラバマダ宜シイノデアリマスガ、色ミナ手段ニ依ッテ資本金ニ取ラル、點ガ多イヤウニ感ズルノデアリマス、斯ウ云フ高イ利子ヲ拂ッテ借リル其問屋ヨリ實際ノ

事業者が資金ヲ借受ケルトキハ、一段高イモノニナリマス、斯ウ云フ高イ金利ヲ漁獲シタル魚ヲ食ベルノデアリマスカラ、東京市民ノ過半数ハ高イ金利ヲ食フテ居ルヤウナモノデアラウト思ヒマス、將來斯ノ如キ方面ニ對シマシテハ、大ニ注意ヲスル必要ガアルト思ヒマス、此法案ヲ提出致シマシテ、金融ノ状態ヲ全然一變スルナドトハ到底吾々ハ左様ナ野望ハ持タヌノデアリマス、此方面ニ於ケル改良ノ一手段トモ之ガナリ得ルナラバ、幸ト感ズル次第デアリマス、大體御答辯ヲ是ダケ申上ゲテ置キマス

○中村(嘉)委員 大變御親切ナ御説明デ能ク分リマシタ、大藏省ナリ農商務省ガ水産ノ金融機關ヲ造ルト云フコトニ付キマシテ、魚市場ナドモ御調ニナッタラウト思ヒマスガ、只今御話ノ三十名位ノ魚市場ノ金融ヲスル人達ガ、ドンナ風ニナッテ居ルカ、資産ガ段々殖エツツアルカ、若クハ没落シタ經驗ガアルカドウカ、サウ云フ事ノ御調査ガ付イテ居リマスカ

○堀切政府委員 是ハ先程申上ゲマシタ七百五十名アリマス間屋ノ中ノ資金ヲ供給シテ居ル者、約三十名ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、是等ノ人ハ比較的資産状態ノ良イ人デアリマス

○中村(嘉)委員 今政府委員ノ御説明ニ依リマシテ、三十名位ノ人達ガ資産

ノ良イ、状態ノ人デアルト云フ御話デアリマスガ、私ノ質問ハ調査ガ付イテ居ナイダラウト思ヒマス、魚問屋ノ商人ト金融業者ガ、ドウ云フ風ニ發達シテ居ルカト云フコトヲ調べテ置イテ貰ヒタイ、之ガ私ノ希望デアリマス、尙ホ本案ニ付テ御伺ヒ致シテ見タイト思ヒマスノハ、第二條ニ「漁業財團ハ左ニ掲クルモノニシテ同一人ニ屬スルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組織スルコトヲ得」斯ウ云フ風ニナッテ居リマスガ、此同一人ト云フノハ法人デモ個人デモ違ヒナイト思ヒマスガ、漁業ハ多ク斯ウ云フコトガアルノデアリマス、例ヘ

バ漁業權ハ漁業組合ガ持ッテ居ル、其漁業者ハ組合カラ五年トカ三年トカ十年トカ賃借ヲシテ、漁具漁船ヲ備ヘルヤウナコトヲシテ仕事ヲシテ居リマスガ、斯ウ云フ人ハ二ツモ三ツモ財物ガ混ッテ——同一人ニ屬スル例モアリマスガ——屬シナイ色ミノ人ノ物ノ集合ニ依ッテ纏ッテ居ル例ガ澤山アリマス、然ルニ此法案ハ一人ノ物デナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレハ金融ノ途ガ出來惡イコトニナルノデアリマス、併シ政府ハ之ニ對シテ何カ便法ヲ設ケテ、二三ノ人ガ組合ヲ組織スルトカ、或ハ連帶責任ヲ持ツナラバ金ヲ貸シテ宜イト云フ御考デアリマスカ

○堀切政府委員 尙ホ種々ノ點ニ付テ從來例モアリマスカラ、局長、課長ノ説

明員ヨリ説明スルコトヲ御許シテ願ヒマス
○吉原委員長 宜シイト思ヒマスガ、皆サン如何デスカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○吉原委員長 宜シウゴザイマス

○農商務書記官大濱喜一郎君 ソレデハ私カラ説明致シマス、漁業財團抵當法ニ付キマシテハハテ同一人デナケレバイケナイカト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ工場抵當法ハ漁業財團抵當法ト違ヒマシテ、必シモ一箇人タルコトヲ要シナイ、所有者ガ違ヒマシテモ尙且ツ一團トシテ財團ヲ組織シ得ル立テ方ニナッテ居リマス、併シナガラ漁業ニ於キマシテハ、其性質上鑛業抵當法、鐵道抵當法、運河財團ト云フヤウナ規定ト同ジク、同一人デナケレバナラナイ、是ハ現在ノ漁業ノ實際ニ鑑ミマシテ、工場ニ於ケル如ク廣イ意味ノ財團ヲ組織スル必要ヲマダ認メナイト云フ理由デ同一人ト致シタ次第デアリマス、併シ同一人ガ數箇ノ漁業權、又ハ漁船ヲ持ッテ居ル場合ハ——所有者ガ同一ナル場合ハ一括シテ一ツノ財團ヲ組織シ得ル立テ方ニ致シタ次第デアリマス

○中村(嘉)委員 只今ノ御答ハ私ノ質問ノ的外レテ居ル如ク思ヒマス、同一人ノ持ッテ居ル色ミノ漁業權、船舶、漁具ヲ一ツノ財團ニスルト云フコトハ、少シモ私ハ尋ネタノデナイ、又是ハ當然ノコト、思ッテ居リマス、同一人ニ

屬スル物ト云フノハ、寧ロ私ノ考デハ工場財團ガサウ云フ規定ニナッテ居ルカラ、ソレニ則ッタノデナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、今ノ御説明ハ工場財團ニ別々ニナッテモ宜イト云フコトデアリマスガ、ソレハ御考違ヒデナイカト思フノデアリマス

○農商務書記官大濱喜一郎君 只今工場抵當法ト御比較ノ御話デアリマスガ、工場抵當法ニ於テハ財團ヲ組織シ得ル場合ハ、所有者ガ違ヒマシテモ尙且ツ一緒ニ致シマシテ、甲ノ財團ト乙ノ財團ヲ一緒ニシテ財團ヲ組織シ得ルコトニナッテ居リマス、併シ此立テ方ハ本案トハ立テ方ガ違ッテ居リマシテ、本案ニ於テハ現今ノ漁業ノ實際ニ鑑ミ、工場抵當法ト同ジ立テ方ニスルコトハ困難デアル、又其必要ヲ認メマセヌノデ、一箇ノ所有者ト云フコトヲ本位トシテ立テタノデアリマス

○中村(嘉)委員 今ノ御話ハ私ノ考ト矛盾シテ居リマシテ、漁業ノコトヲ御存ジナイ結果ト思ヒマスルガ、若シ工場財團ガ別々ニ分ケテモヤレルモノナラバ、尙更ニハ別々ニヤラナケレバナラス状態デアルト思ヒマス、ト申スノハ漁業ハ權利ト物件ヲ別々ニ持ッテ居ル場合ガ甚ダ多イト思ヒマス、漁業組合カラ權利ヲ借リテ、又別ノ所カラ物件ヲ借リテ、一人ノ人ガ資本ヲ出シテヤッテ居ル状態デアリマスカラ、即チ二三ノ者ガ一緒ニナッテ居ル例ガ多々ア

ハ、少シモ私ハ尋ネタノデナイ、又是ハ當然ノコト、思ッテ居リマス、同一人ニ

憂ヲ持ッテ居リマス

○堀切政府委員　只今ノ所デハ其意思
ガアリマセヌ、而シテ政府ハ本法ニ依
リマシテモ、従前ニ比シ相當金融ノ途
ガ開ケルト考ヘテ居リマス、是デハ効
果ガ薄イト云フ御意見トハ、矢張意見
ノ違ヒニナリマス

○中村(嘉)委員　例ヘバ茲ニ「トロー
ル」船ガ十艘アル、之ヲ所有シテ居ル會
社ナリ、個人ナリガ十人アルト致シマ
ス、其十人ガ連帶シテ金ヲ借リヤウト
云フコトガアル、サウ云フノハ一ノ法

人デナシニ幾ツモノ個人ガ集ッテ居ル
ノデアリマスカラ、随テソレ等ノ人ニ
ハ金ヲ貸サナイト云フコトニナルノデ
アリマスガ、更ニサウ云フヤウナ個人
ナリ或ハ會社ガ、其上ニ一ノ法人ヲ造
ル、何カ「トラスト」ノヤウナモノヲ造
テ金ノ融通ヲ求メルト云フコトニナリ
マスレバ、ソレニ對シテハドウナリマ
スカ

○大濱農商務書記官 私カラ御答致シマス、別個ノ漁業家、例ヘバ「トロール」ノ漁業者ガ集ッテ茲ニ一ツノ「トラス」ヲ組織シマシタ場合ニハ借リ得ルカドウカト申シマス、ソレニ付キマシテハ此法案ニ依リマス、借リ得ナイト明ニ御答スルヨリ致方アリマセヌ、ソレカラ又「トロール」會社ニ付テハドウカト云フト、是ハ一個ノ法人デアリマスカラ當然借リ得ルノデアリマ

○中村(嘉)委員 「トロール」會社が借り得ルコトハ勿論デゴザイマスガ、私ノ申シマスコトハ「トロール」會社が幾ツモ聯合シテ更ニ一ツノ法人ヲ造ルコトガアリマス、例ヘバ「トラス」見タ様ナモノヲ拵ヘル組合ヲ造ル、ソレモ漫然ト一緒ニナルト云フノデナク、一ノ法人ヲ造ル、サウ云フモノヲ同一人ト云フ風ニ解シテ御貸シニナルカドウカ、ソレカラ今一ツ權利ト物件トガ別個ニアルト云フ適切ノ例ヲ申上ゲマスト「トロール」船ト云フモノヲ擔保ニ入レル、其「トロール」船ハ十萬圓ナラ

十萬圓ノ價值アルモノトシテ擔保ニ入レテ金ヲ借りル、ソレガ後ニナツテ擔保流レニナル、擔保流レニナレバ其人ハ直ニ其「トロール」船ヲ自分ガ使用シ得ルト云フ考ヲ誤ッテ持ッノデアリマス、ケレドモ此使用ガ出來マセヌ、其「トロール」船ノ權利ガ別ニアツテ使用ガ出來マセヌ、ソレガ爲ニ「トロール」船ニ金ヲ融通シナイコトニナル、之ヲ一絡ニ合同スルヤウニシナケレバ、逆モ十分ニ運用ガ利カナイト思ヒマスカラ、先程申シマシタ漁業法ノ改正ト云フコトニモ御考ガアルカト云フコトヲ申述ベタノデゴザイマス、サウ云フ例ニ付テハドウ云フ御考デスカ

○大濱農商務書記官 今ノ御質問ノ幾ツノ會社、又ハ個人ガ集ッテ其上ニ更ニ法人ヲ造ッタラ借入レルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、法人デアリマ

スレバソレハ明ニ此ノ二條ノ同一人ト看做シ得ル譯デアリマスカラ、ソレハ借り得ルコト、考ヘマス、ソレカラモウ一ツノ點ニ付キマシテハ一寸御質問ノ要點ガ分リマセヌデシタガ「トロール」船ガ若モ抵當流レニナツタ場合ニハドウスルカト云フ御質問デスカ

○中村(嘉)委員 サウデス、權利ガクツ附イテ居ナイカラ、船ト權利ト別ニナツテ居ル譯デスカ

○大濱農商務書記官 財團ヲ組織シタ上デ、ソレガ抵當流レニナツタ場合デスカ

○中村(嘉)委員 「トロール」ノ漁業ヲ經營スルト云フ權利ハ、矢張漁業權ニ見ラレル譯デセウカ、ドウデスカ

○大濱農商務書記官 ソレハ現行ノ漁業法ノ漁業權ト看做サレナイ譯デアリマス

○中村(嘉)委員 ソレカラ「船舶」並其ノ屬具及附屬設備」ト云フコトガアリマスガ、是等ハ殆ド半消耗品デアリマシテ、日本ノ漁船ハ約世界ノ漁船ノ八十萬隻ノ中ノ四十萬隻ト云フモノガアリマスガ、日本ノ漁船ト云フモノハ五

年カ十年使ヘルト云フヤウナ木船ガ多數デアリマスガ、是等ハ殆ド半消耗品デアアル、又之ニ屬スル漁具及附屬設備モ殆ド消耗品ノヤウナモノデ、網ノ如キモノハ一年モ使ハナイ内ニドン／＼失クナツテシマフモノデアリマス、此擔保價格ト云フモノハ極メテ薄弱デアルト

思ヒマスガ、ソレニ付テハドウ云フ御考デアリマセウカ、矢張消耗シテモ後カラズン／＼造ッテ行クモノトシテ存在シテ行クト云フ御考デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、擔保價格トシテ薄弱ナモノデアアルニ拘ラズ、屬具トカ附屬設備トカ云フモノヲ入レテ宜イカ、之ヲ伺ヒタイ

○堀切政府委員 御説ノ通り日本ノ船舶ハ數ハ非常ニ多イケレドモ、脆弱ナモノデアリ、小サイモノデアアルカラ、其屬具及附屬設備モ消耗品ニ相違ナイ、船モ無論消耗品デアアル、總テノ有形物ハ皆消耗サレルノデアリマス、併ナガラ政府トシテハ左様ナモノヲモ尙ホ財團組織ノ一ツノ要素ノ中ニ入レテ、サウシテ出來得ルダケ金融ノ途ヲ付ケテヤリタイ、斯様ナ精神カラ出發致シテ

居ル次第デアリマス、無論其屬具ノ中ニモ、御話ノ網トカ云フモノハ、漁業家ハ之ガ無ケレバ仕事ガ出來ナイノデアリマスカラ、後カラ補充スルモノト考ヘマス

○中村(嘉)委員 ソレカラ公有水面埋立法ト云フノガアリマシテ、之ニ依ッテ埋立テ、自分ガ何カニ使フト云フト、自分ノ所有物ニナルコトニナツテ居リマスガ、漁業ノ中ニ於テ區劃漁業ト云フモノハ、水面ヲ利用シテ居ル者ニ、サウ云フ所有權ガ與ヘラレテ居ラヌノデアリマスカラ、隨テ餘程擔保モ薄弱ナ

モノデアリ、不安ナモノデアリマスガ、政府ハ區劃漁業ノヤウナ風ニナツテ居ル水面ヲ、所有權ニ移スヤウナ法律ヲ拵ヘル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○堀切政府委員 所有權關係ノ問題ト致シマシテハ、中々重要ナ問題ニナツテ參リマスノデ、之ニ就テハ司法省或ハ内務省トモ能ク交渉シナケレバナラヌノデアリマス、一定ノ水面ノ或ハ干拓、或ハ埋立等ニ依ッテ之ヲ個人ガ利用シテ、終ニハ所有權ヲモ附與スルト云フ點ハ、種々ナル行政上、或ハ經濟上等ノ理由ニ依ッテ出來テ居ルモノト考ヘマス、只今御話ノ如ク水面漁業ノ爲ニ使ッテ居ル者ニ、所有權ヲ移ス云々ト云フコトハ、中々重大問題デアリマス、單ニ農商務省ダケデハ御返事ヲ致シ兼ねル問題デアリマス、只今ノ所デハ其考無

シト申スヨリ外アリマセヌ

○中村(嘉)委員 ソレカラ漁業權ト申シマシテモ、色ミノ漁業ガアリマシテ、定置漁業ト云フモノモアレバ、區劃漁業ト云フモノモアル、特別漁業ト云フモノモアリマスガ、特ニ定置漁業ト云フモノハ、漁業權ノ最モ財團法人ノ骨子ヲ成スモノト思ヒマスガ、定置網漁業ノ中ニモ、臺網類トカ、落シ網類トカ、或ハ掛網類、建網類、出シ網類、張網、魃、築、色ミナ種類ガアリマスガ、是等ノ總テノモノハ別トシテ、少クトモ此骨子ヲ成ス所ノ臺網類、即チ鮪ヲ獲ッ

當權者ニ通知スヘシト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ若シ漁業權ガ取消サレタ場合ニハ、取消サレテカラ後ニ通知ヲスルト云フコトニナル譯デアリマセウカ

○大濱農商務書記官 其通りデス

○中村(嘉)委員 更ニ五項デアリマスガ「競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ漁業免許ノ取消ハ其ノ効力ヲ生セサルシモノト看做ス」此意味ハ少シ私共法律ノ頭ノ無イ者ニハ分リ兼ねルノデアリマスガ、ドウ云フ御解釋デアリマセウカ、御説明ヲ願ヒマス

○堀切政府委員 是ハ第四條カラ大體御話申上ゲマスレバ、漁業權ガ行政官廳ニ依ッテ取消ヲ受ケタ場合ノ規定デアリマス、ソレカラ競落ノ規定ハ後

始末ノ規定デアリマスガ、漁業權ノ取消ノアツタ場合ニハ此四條ニモ明記サレテ居リマスガ如ク、取消ノ通知ヲ先ヅ第一ニ行政廳カラ抵當權者ニ發スル、其次ニハ抵當權者ハ其權利ヲ實行スルコトガ出來ル、其場合ニハ六箇月以內ニ手續ヲシナケレバナラス、漁業權ハ六箇月ノ期間內、又ハ抵當權實行ノ終ルマデニ抵當權實行ノ目的ノ範圍內ニ於テハ、尙ホ其漁業權ハアルノダト云フ風ニ第四項ニ依ッテ看做サレテ居リマス、競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ、漁業免許ノ取消ハ其ノ効力ヲ生セサルシモノト看做ス」ト云フノハ一旦競落ノ決定ガ決マルト、ソレハ

初メカラ漁業權ノ取消ハナイモノト思フ、隨テ其結果自由ニ漁業ヲ爲シ得ルコトニナルノデアリマス

○中村(嘉)委員 サウスルト一旦擔保シテアツタ所ノ漁業ノ免許ガ期日ニ於テ免許ヲ取上ゲラレタル後ニモ、六箇月ノ間ハ免許ガアルモノト同様ニ認メルノデアアル、其六箇月間ニ競落ヲ許ス決定ガ確定シタ場合ト言ヘバ、六箇月ノ範圍內ニ競落ガ決定シタ場合ト認メルカ、或ハ六箇月濟シデカラデモ此競落ノ場合ハ宜シイノデアリマセウカ

○大濱農商務書記官 ソレハ六箇月ノ範圍內ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做サレル、ソレカラ競落ハ實際上六箇月以內ニアルカ、或ハ其後ニアルカト云フコトハ、實際ノ場合ニハ六箇月以內ニナルコトモアリマセウ、或ハ六箇月以降ニナルコトモアラウト思ヒマス

○中村(嘉)委員 若シ競落ヲ致シタ場合ニハ唯、權利ヲ取ッタクデハナイ、權利ト共ニ漁業ヲ爲シテ宜イト云フコトニナリマセウカ

○大濱農商務書記官 ソレハ第五項マデノ問題ト致シマシテハ競落ノ決定ガ確定シタ場合ニハ、漁業免許ノ取消ハ効力ガナイノデスカラ、漁業權ヲ爲シ得ルコトニナリマス

○中村(嘉)委員 次ノ「前四項ノ規定ハ水產物ノ蕃殖保護、船舶ノ航行、碇泊、繫留、水底電線ノ敷設、若ハ國防、其他ノ軍事上必要アル場合、公益上害アル場合、又ハ錯誤ニ依リ漁業ノ免許ガ與ヘラレタル場合ニ於ケル漁業免許ノ取消ニ關シテハ之ヲ適用セス」トアリマスガ「錯誤ニ依リ漁業ノ免許ヲ與ヘラレタル」ト云フ此處ハ餘程從來ノ經驗カラ見マスルト、役所ガ動モスルト自分ノ都合ノ惡イトキニナレバ、錯誤ニ依リ免許シタト云フヤウナコトガアリ甚ダ複雑ナル關係ヲ生ズルコトガ往々アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトニ依ッテ圓滿ニ爲シ得ルト云フ御考デアリマスカ

○大濱農商務書記官 從來政府ガ錯誤ニ依ッテヤッタ場合ニ、オシマヒニナルト云フヤウナ御話ガアリマスガ、此點ニ付テハ私共モ十分ナ注意ヲ以テ遣リタイト考ヘテ居リマス、將來斯ウ云フ問題ヲ成ベク避ケテ、注意ヲ以テヤルト云フコトヲ御答シテ置キマス、併シ字ノ通り錯誤デアリマスカラ、萬一錯誤ト云フ問題ガ生ジタ場合ニハ、之ニ依ッテ生ズル漁業權ノ免許ニ付テハ、何トカ面倒ヲ見テヤラナケレバナラヌト云フコトカラ來タ規定デアリマス

○中村(嘉)委員 ソレカラ區劃漁業權ト云フヤウナモノハ、從來多ク漁業組合ニ認可シテアリマシテ、漁業組合ハ自ラ經營スルコトガ出來ズシテ漁業權ヲ賃借スルノガ習慣ニナツテ居リマス、其爲ニ頗ル不利益ナコトモアリ、又不

都合ナコトモ往々アルノデアリマスカ
ラ、吾々ハ常ニ賃借モサセルコトガ出
來ルガ、漁業組合自ラ漁業權ヲ行使シ
テ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデ
アリマスカ、政府ハ其點ヲ御改正ニナ
ル御意思ガアルヤ否ヤト云フコトヲ伺
ヒタイ

○大濱農商務書記官 現行法ノ下ニ於
キマシテハ、漁業組合ハ自ラ漁業ヲ爲
シ得ナイト云フ點カラ見マシテ、組合

制度ヲ如何ニシタラバモウ少シ漁業ノ
發達ニ資シ、又漁業組合ノ圓滿ナル發
達ヲ期シ得ルカト云フコトニ付テハ、
漁業法ノ改正ト共ニ是非御説ノヤウナ
點ヲモ顧慮シテ行キタイト思ヒ
マス

○中村(嘉)委員 只今政府委員ノ御話
ノヤウニ、是非漁業權ヲ組合ガ直接ニ
行使スルコトガ出來ルヤウナ改正ヲ
ヤッテ戴キタイト思ヒマス、更ニ又各地
ニ在ル漁業組合ノ働キガ極メテ散漫デ
アリ、又鈍クナッテ居リマシテ、組合ヲ
造ッテ趣旨ニ副ハナイ所ガ澤山有ルノ
デアリマス、當局ハ恐ラク此點ニハ氣
ガ着イテ居ラル、コト、思ヒマスガ、
私共ハ常ニ斯ウ考ヘテ居ル、漁業組合
ヲ活動セシメルベク政府ガ自ラ指導ヲ
シテ、共同販賣或ハ共同購買ヲ造リ、資
金ノ貸付ヲヤツタリ、共同倉庫、共同製
造所ヲ造ルト云フヤウナコトヲバ、漁
業組合ヲ導イテヤラシムルコトガ是モ
必要デアル、之ヲ行ハナケレバ徒ニ漁

業組合ハ裝飾ノミニ止マッテ、眞ニ其目
的トスル漁村ノ改善進歩發達ニ資スル
コトハ極メテ少ナイト思フノデアリマ
スカ、此點ニ付テ政府ハ何カ新シクカ
ヲ盡シテ見タイト云フ御意思ガアリマ
セヌデセウカ、ナイトスルナラバ極力
此點ニモ力ヲ盡シテヤッテ戴キタイト
云フ希望ヲ持ッテ居リマス

○堀切政府委員 只今ノ御質問ハ政府
ニ其考ノナイドコロノ話デハナイノ
デ、今回ノ農村振興ノ内漁村振興費三
十餘萬圓ヲ計上致シマシテ、是ハ専ラ
只今ノ中村君ノ御話ノ漁場ノ施設經營
ハ、斯様ナ精神ニ基イテ之ヲ助成シ發
達セシメテ行クヤウニ施設致スコトニ
ナッテ居リマス、尙ホ將來ト雖モ其漁業
組合ヲ利導シ、而シテ農村ノ振興ヲ圖
ルヤウニ十二分ノ考慮ヲ致ス積リデア
リマス

○中村(嘉)委員 只今ノ堀切政府委員
ノ御説明ニ依リマシテ私ハ満足スルノ
デアリマスガ、唯、此漁業ノ事ハ三十萬
圓ヤ五十萬圓ノコトデ容易ニ爲シ盡サ
レルモノデナイト思ヒマス、今後ハ特
ニ農林省ト分離サレルコトニナリ、殆
ド陸産ト水産ト云フ風ニ二ツノ部門ニ
ナッテ行クノデアリマスカラ、是ハ一ツ
餘程金ヲ使ッテ獎勵シテ行カナケレバ
ナラヌト考ヘマスカラ、只今ノ御話ノ
ヤウナ考デ以テ力ヲ盡シテ戴キタイト
云フコトヲ附加ヘテ置キマス、更ニ政
府委員ニ伺ヒタイコトハ、現在デハ勸

業銀行及北海道拓殖銀行、朝鮮銀行、農
工銀行ト云フヤウナモノガ金ヲ融通シ
テ居ルト云フコトモアルヤウデゴザイ
マスガ、法律ニ依ッテ漁業ノ資金ヲ融通
スルヤウナ風ニシテアルノハ、單リ日
本興業銀行ト朝鮮殖産銀行ノ二ツシカ
ナイノデアリマス、法律ノ規定ニ依ッテ
而シテ財産ヲ擔保デ貸付ヲシテ居ルノ
ハ、此二ツノ銀行シカナイヤウニ思ヒ
マスガ、今後ハ矢張勸業銀行、北海道拓
殖銀行、朝鮮銀行、臺灣銀行、延イテハ
日本銀行、是等ノ金融機關ニ於テ何ト
カ金融ノ途ヲ設ケテ貰ヒタイト思ヒマ
スカ、只今ノ法律ノヤウナモノガ出來
マシテモ、其運用ガ本當ニ圓滿ヲ期ス
ルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、
是等ノ條件等ニ付テ改正ヲ企テラレル
御意思ガ只今アリマスカ、若シ無イト
スルナラバ至急ニヤッテ戴キタイト思
ヒマスガ、其點ヲ伺ヒマス

○青木大藏書記官 只今ノ御質問ニ御
答申上ゲマスガ、此法案ガ成立致シマ
シテモ、特殊銀行法ヲ改正シナケレバ
十分効果ヲ擧ゲルコトハ出來ナイノデ
ハナイカト云フ御質問ノ御趣旨ノヤウ
ニ思ヒマスガ、是ハ農商務省ノ政府委
員カラ御説明ニナルコト、思ヒマス
ガ、此財團ニ付キマシテハ工場抵當法
ノ規定ノ關係カラ致シマシテ、漁業財
團ト云フモノハ不動産ト看做スコトニ
ナルト私ハ承知致シテ居リマス、左様致
シマスルト、不動産ヲ擔保トシテ貸出

ヲ致シマスコトハ、北海道拓殖銀行、勸
業銀行、農工銀行、朝鮮殖産銀行ハ何時
デモ十分貸出シ得ルコトニナッテ居ル
ト考ヘテ居リマス

○中村(嘉)委員 ソレデハ斯ウ伺ッテ
宜シウゴザイマケカ、其不動産ヲ擔保
トシテ貸付ケルコトニナッテ居ルカラ、
只今ノ漁業財團ハ不動産ト斯ウ認メテ
宜シイト云フ御話デアリマスカ

○堀切政府委員 ソレハ漁業財團ハ不
動産ト認メラレテアリマスカラ、不動
産ヲ以テ貸付ケ得ル法規ノ銀行ニ於テ
ハ、之ニ貸付ケ得ルノデアリマス、唯、
勸業銀行、農工銀行等ノ資本金積立狀
況ニ依ッテ、貸付ケ得ルトキハ貸付ヲス
ルノデアリマスガ、其資金ノ都合ニ依ッ
テ貸出シ得ルトキハ貸付ケルコトモ出
來ルガ、之ヲ限定スルコトモ出來ルノ
デアリマスカラ、漁業財團ト云フコト
モ其中ニ入レテ貰ハナイト、ドウモ十
分ニ貸付ヲ爲シ得ルト云フコトニハナ
ラナイノデアリマス、之ヲ利用スル程
度ト云フモノハ、其時ノ事情ニ依ッテ資
金ノ狀態ニ依ッテ支障ヲ來スモノト考
ヘラレルノデアリマスカラ、此點ニ
對シテハ出來得ルダケ範圍ヲ廣クシテ
置キタイト、大藏當局ト今交渉中ニ屬
シテ居リマス

○中村(嘉)委員 私ノ質問ハ今ノ所デ
ハ是デ打切ッテ、他ノ御質問モアラウト
思ヒマスカラ、ソレガ濟ミマシタラ更
ニアトカラ質問致シタイト思ヒマス

○吉原委員長 委員諸君ノ中ニ於テ御
質問ガナケレバ、村上君カラシテ、御質
問ガアルト云フコトデゴザイマスガ、
委員諸君ノ中ニハアリマセヌカ——ソ
レデハ村上君、餘程長イデスカ

○村上紋四郎君 一寸デス、大藏當局
ニ質問致シタイト考ヘマス、二十分程
デスガ、午後デモ宜シウゴザイマス

○吉原委員長 ソレデハ午後一時半ニ
開會致シマス、午前ハ是デ散會致シマ
ス

午後零時三十分休憩

午後一時五十六分開議

○吉原委員長 ソレデハ午前ニ引續イ
テ開會致シマス

○村上紋四郎君 私ハ大藏當局ニ對シ
マシテ一二御尋ラ致シタイト思フノデ
アリマス、御承知ノ通り我國ノ水産ガ
他ノ産業ニ對比致シマシテ、遅々シテ
振ハナイ、其原因ハ何カト申シマスレ
バ、之ニハ幾多ノ原因ガアラウト思ヒ
マスガ、先ヅ第一ニ資本ノ供給ヲ得ル
コトガ出來ナイト云フコトガ最モ大ナ
ル原因デアラウト思フノデアリマス、
故ニ當業者ハ多年水産銀行ノ設立ヲ希
望致シマシテ、衆議院ニ於キマシテモ
兩三回通過ヲ致シマシタノデアリマス
ガ、其實現ヲ見ルコトガ出來ナイノデ
アリマス、而シテ確カ明治四十四年ト
記憶シテ居リマスガ、當時ノ大藏當局
ト致シマシテハ、水産銀行ノ設立ヲ迫

リマシタトキニ、大藏當局ハ今日ノ狀
態カラ考ヘテ水産銀行ノ設置ト云フコ
トハ尙ホ早イ、故ニ農工銀行法、勸業銀
行法ノ改正ヲ行ッテ、成ベク水産業者ノ
便利ナ方法ニ依ッテ貸出サレルト云フ
コトノ明言ヲセラレマシタ、明治四十
三年四月四日——四年三月ニ日本勸業
銀行法並ニ農工銀行法ヲ改正セラレマ
シタ、漁業組合又ハ漁業組合聯合會ニ
ハ、抵當ヲ徵セズシテ長期償還貸付、若
クハ年賦償還貸付ヲ爲スコトヲ得ルト
云フコトニナッタノデアリマス、私共ハ
此改正ニ依リマシテ、漁業ノ資金ヲ得
ルコトガ出來ルト考ヘテ居ッタノデア
リマシタケレドモ、其後勸業銀行モ漁
業ニ對スル貸付ノ方法ハ、漁業權ノ擔
保ノ如キ之ヲ危險視シマシテ、容易ニ
貸出ラシナイノデアリマス、ノミナラ
ズ農工銀行ニ於キマシテモ、漁業者ガ
數人連署致シマシテ、改正ニ基ク貸出
ヲ要求致シマシテモ、是亦水産業ハ一
種ノ危險事業デアルト云フ見地ヨリ致
シマシテ、容易ニ貸出ラシナイノデア
リマス、一例ヲ申シマスレバ、私ノ縣ニ
一ノ漁業組合ガアリマシテ、是ハ非常
ナ大キイ組合デアアルノミナラズ、漁業
組合ノ漁業者ガ漁獲スル產額ハ、一箇
年七十萬圓以上ニ達シテ居リマス、漁
業權ニ依ル收入モ亦確實デアアルノデア
リマス、是等ニ對シマシテモ、容易ニ貸
出ラシイノデアリマス、又近來「トロ
ル」漁業者ガ船舶ヲ擔保トシテ貸出ヲ

要求致シマシテモ、是亦容易ニ貸出ラ
シナイノデアリマス、折角當業者ノ要
求ニ依リマシテ法ノ改正ガ出來マシ
テ、大旱ニ雲霓ヲ望ムガ如キ狀況デア
テ、非常ニ當業者ハ喜ンダニモ拘ラズ、
是等ノ貸出ガ圓滑ニ行カナイ爲ニ、折
角有利ナ事業モ之ヲ行フコトモ出來
ズ、經營スルコトモ出來ナイト云フコ
トハ甚ダ遺憾デアリマスガ、政府當局
ハ勸業銀行若クハ農工銀行ニ對シマシ
テハ、如何ナル考ヲ以テ御臨ミニナル
ノデアリマセウカ、此點ニ付キマシテ
私ハ御伺致シタイト思フデアリマス
○早速政府委員 御答致シマスガ、只
今村上君ガ御尋ニナッタヤウナコトガ、
前回委員會デモ屢ニ繰返サレタノデア
リマス、大要ハ其節ニ當局トシテノ意
見ヲ申述ベテ置イタノデアリマス、詰
リ水産ノ金融ト云フモノガ從來十分ニ
行ハレテ居ナカッタ、又現在モ思フ程ソ
レガ十分ニ行ハレテ居ナイト云フコト
ニ付キマシテハ、村上君ノ御述ニナッタ
通りデアアラウト思ヒマス、ソレデ當局
トシテモ其點ニ付テハ無論遺憾ヲ抱イ
テ居ルノデアリマス、併ナガラ遠キ昔
ノ時代トハ違ッテ、今日ニ於キマシテハ
銀行トシテモ此水産業ト云フモノニ對
シテハ多少ノ理解ヲ持ッテ居ル、多少ト
云フト語弊ガアリマスノデ、十分ノ
理解ヲ持ッテ居ルト云フコトハ事實ナ
ノデアリマシテ、是ハ相當ニ金融上ノ
施設ヲシテ行カナケレバナラヌト云フ

コトハ心得テ居ルニ相違ナイノデアリ
マス、唯、只今村上君ノ御述ニナリマシ
タ如ク、此貸付ヲスル銀行ノ方許リガ
惡イノデモナカラウ、漁業ニ從事シテ
居ル方ノ者モ、矢張負擔力ヲ十分ニ涵
養シテ行カナレバナラヌ、銀行モ此金
融ノ便宜ヲ圖ル爲ニ色々ナ行ヒヨシテ
行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ナ事
ハ兩者相俟ッテ行カナケレバナラヌノ
デアリマスカラシテ、其點ニ於テハ双
方トモ調和的ニ理解ヲシナケレバナラ
ヌト云フノハ無論ノ話デアリマス、政
府トシテハ一體今日ノ勸業銀行ヤ農工
銀行ニ付テドウ云フヤウニ考ヘテ居ル
カト云フ御尋デアリマスケレドモ、政
府トシテハ是以上尙ホ相當ニ此水産業
者ノ金融ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、
特殊銀行モ相當ノ努力ヲシナケレバナ
ラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルガ爲ニ、
日常之ニ付テハ相當ノ注意ヲ拂ッテ居
ルト云フコトハ先日モ申シタノデアリ
マシテ、政府當局ノ意見ト致シマシテ
ハ全ク左様デアアルノデアリマシテ、如
何ニモ不十分ノ點モアリマスカレド
モ、今後ハ十分ニ此金融ノ途ノ開カル
ルヤウニ努力シナケレバナラヌト云フ
考ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、繰返シ
テ申シマスガ、是ハ矢張金融機關ト、ソ
レカラ一方ニハ漁業者トノ間ニ双方共
互ニ理解ヲシテ調和シテ行カナケレバ
ナラヌト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリ
マス、ソレデ只今ノ所デハ具體的ニ此

特殊銀行ニ對シテドウ云フ事ヲスルカ
ト云フ案ヲ御示シスルコトハ出來ナイ
ノデアリマスケレドモ、當局トシテハ
將來ニ對シテハ相當ニ此水産金融ノ途
ヲ圓滿ニ開クト云フコトニ付テハ益、
努力ヲシナケレバナラヌト云フ考ヲ
持ッテ居ルト云フ風ニ御諒解ヲ願フヨ
リ外仕方ガナイノデアリマス

其全生命デアリマスカラ、之ヲ拋棄シ
テ銀行ニ損害ヲ與ヘルヤウナコトハ絶
對ニナイト思ヒマスカラ、斯ウ云フ方
面ニ向ッテ十分貸付ヲスルト云フヤウ
ナ方法ヲ講ゼラレルノデアリマスカ、
此點ニ對シテ御伺ヒ致シマス
○早速政府委員 只今ノ御尋ネ一應御
尤モデアリマス、銀行等ガ漁業權ヲ眠
中ニ置イテ居ラヌト云フヤウナ傾キガ
アルノハイカヌト云フヤウニ御述ニ
ナッタノデアリマスケレドモ、是ハ必シ
モサウデハナイノデアッテ、勸業銀行其
他ニ付キマシテモ、無論此漁業權ハ認
メテ居ルノデ、前刻色ニ申上ゲタ通り
ニ是迄ハ漁業權ヲ認メテ居ッテモ、金融
ノ途ニ於テ不十分ナ點ガアッタト云フ
ノハ、ソレハ多少事實デアラウト思フ
ノデアリマス、ケレドモ法律ノ上ニ於
テモ漁業權ト云フモノハ認メテアルノ
デアリマスカラシテ、勸業銀行其他ガ
漁業權ヲ認メナイト云フコトハナイノ
デアリマス、而モ御話ノ如ク漁業財團
抵當法ト云フモノヲ設ケテアッテモ、銀
行ノ局ニ當ッテ居ル者ガ、十分ニ之ヲ活
用シナイノデ空文ニナッテシマフト云
フコトモ、是モ御尤デアラウト思セマ
スガ、玆ニ斯ウ云フヤウナ法律ガ出來
ルト致シマスケレバ、將來益、注意ヲシテ
此金融ノ便宜ヲ圖ルト云フコトニ付テ
ハ、十分ノ努力ヲ致サナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル者デアリマス

ノ第一條ニ付テ、甚ダ疑問ヲ懷イテ居
リマス、先刻中村君ヨリノ質問ニ對シ
マシテ、政府ノ答辯ヲ初カラ終リマデ聽
クコトガ出來マセヌデシタカラ、或ハ
重複スルカモ知レマセヌガ「漁業權若
ハ其ノ登録シタル賃借權ヲ有スル者漁
業ノ用ニ供スル登記シタル船舶ヲ有ス
ル者又ハ水産物ノ養殖場ヲ有スル者ハ
之ニ付抵當權ノ目的ト爲ス爲漁業財團
ヲ設クルコトヲ得」トアリマス、サウシ
マス例ヘバ甲ノ者ガ漁業權ヲ持ッテ
居リ、乙ノ者ハ漁業權ハ持ッテ居ラナイ
ガ漁具ヲ持ッテ居ル、丙ハ船舶ヲ所有シ
テ居ルト云フヤウナ者ガ集ッテ漁
業財團ヲ拵ヘタ場合ニ於テハ、本法デ
御認メニナリマスカ、又漁業權ヲ持ッ
テ居リマス者、即チ漁業組合ノ如キ者ガ
數多集リマシテ漁業財團ヲ造リマシタ
時分ニハ、本法ニ於テ認メラレルデア
リマセウカ、此二點ヲ伺ヒマス

マシテ同一人デナケレバナラヌト云フ
コトニナリマス
○村上紋四郎君 第二條ヲ見マシテモ
只今政府委員ノ御説明ノヤウニハ取リ
兼ネルノデアリマス、ソレデ折角法ヲ
拵ヘル以上ハ、實際ニ適合シタ其法ノ
運用ニ依ッテ關係者ガ利益ヲ得ルヤウ
ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、第
二條ニ在リマスカウニ、同一ノ人ガ持ッ
テ居ラナケレバ財團法人ト認メルコト
ガ出來ナイト云フト、實際ニハ合ハナ
クナリハセヌカト思ヒマス、御承知ノ
通り地方ニ於テハ漁業權ヲ持ッテ居ル
者ト、漁業ヲ致ス者トハ多クハ異ッテ居
リマス、漁業權ヲ持ッテ居ル者ガ總テノ
設備ヲシテ漁業ヲ爲スト云フコトハ極
ク少イ、ソレデアアルカラ折角此法ガ出
來マシテモ、極ク一部分ノ者ニシカ利
益ニナラナイノデアリマス、廣ク總テ
ノ漁業者ガ之ニ依ッテ利益ヲ受クルト
云フコトニナラナイ、成程鰯ノ大敷網
デアルトカ「ボケ」網トカ云フヤウナ大
キナモノヲ持ッテ居ル者ニハ利益ニナ
リマセウケレドモ、一般漁業者ニ對シ
テハ何等此法ニ依ッテ利益ヲ受クルコ
トハ出來ナイト思ヒマスガ、其點ハ如
何デスカ

○村上紋四郎君 農業者デアリマスケ
レドモ、金ヲ借リル擔保ヲ持ッテ居リマスケ
レドモ、漁業ハ御承知ノ通り全國通ジ
テ多ク貧困者デアリマス、知識ノ程度
カラ申シマシテモ、將又擔保ノ上カラ
申シマシテモ、農業者又ハ商工業者ヨ
リ非常ニ劣ッテ居ルノデアリマス、故ニ
漁業者ノ擔保ト致シマシテハ、先以テ
漁業組合ヨリ外ハナイト見ナケレバナ
ラヌ、漁業組合ガ有シテ居リマス所ノ
漁業權ニ對シテ、勸業銀行ナリ農工銀
行ガ貸付ヲセスト致シマスケレバ、此改
正ハ全ク空文ニ屬スルノデアリマス、
然ルニ勸業銀行ト致シマシテモ、農工
銀行ト致シマシテモ、漁業權ノ如キハ
殆ド眼中ニ置カナイノデアリマス、若
シ之ヲ眼中ニ置カナイト致シマスケレ
バ、實際金融ヲ得ルノ途ガナイノデゴ
ザイマス、サレバ政府ハ勸業銀行ナリ、
農工銀行ナリニ對シマシテ、相當ナル
注意ヲ拂ヒ、漁業權ノ如キニ對シマシ
テハ十分ノ調査ヲシテ、漁業權ノ價值
ト云フコトハ一寸ムツカシウゴザイマ
スケレドモ、漁業組合トシテ漁業權ハ

○大濱農商務書記官 私カラ申上ゲマ
ス、只今ノ御質問ノ第一ハ漁業權ヲ持ッ
テ居ル者、船舶ヲ持ッテ居ル者、各々異
リタル人ガ相一團トナッテ財團ヲ設定
シ得ルヤ否ヤト云フ風ニ承知致シマシ
タガ、此點ニ付キマシテハ第二條ニ明
記シテアリマス通り、同一人デナケレ
バイカヌト云フ建前ニナッテ居リマス、
ソレカラ數個ノ漁業組合ガ集リマシテ
一個ノ漁業財團ヲ設定スルヤ否ヤト云
フ御質問ニ對シマシテハ、ソレハ最初
申上ゲマシタ通り、矢張第二條ニ依リ

○堀切政府委員 只今ノ御質問ハ午前
中ニ中村君ノ御質問ニ御答シタ同様
デアリマス、漁業權ヲ持ッテ居ル者ト、
實際漁業ニ從事スル者トガ違ッテ居リ
マシテモ、實際漁業ヲヤッテ居ル者ガ貸

只今ノ御尋ネ一應御尤モデアリマス、銀行等ガ漁業權ヲ眠中ニ置イテ居ラヌト云フヤウナ傾キガアルノハイカヌト云フヤウニ御述ニナッタノデアリマスケレドモ、是ハ必シモサウデハナイノデアッテ、勸業銀行其他ニ付キマシテモ、無論此漁業權ハ認メテ居ルノデ、前刻色ニ申上ゲタ通りニ是迄ハ漁業權ヲ認メテ居ッテモ、金融ノ途ニ於テ不十分ナ點ガアッタト云フノハ、ソレハ多少事實デアラウト思フノデアリマス、ケレドモ法律ノ上ニ於テモ漁業權ト云フモノハ認メテアルノデアリマスカラシテ、勸業銀行其他ガ漁業權ヲ認メナイト云フコトハナイノデアリマス、而モ御話ノ如ク漁業財團抵當法ト云フモノヲ設ケテアッテモ、銀行ノ局ニ當ッテ居ル者ガ、十分ニ之ヲ活用シナイノデ空文ニナッテシマフト云フコトモ、是モ御尤デアラウト思セマスガ、玆ニ斯ウ云フヤウナ法律ガ出來ルト致シマスケレバ、將來益、注意ヲシテ此金融ノ便宜ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、十分ノ努力ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居ル者デアリマス

借シテ居ル時分ニハ其賃借權ヲ以テ漁業財團ヲ組織スルコトガ出來ルノデアリマス、無論此法案ガ出來タレバトテ、總テノ方面ニ遺憾ナク金融ノ途ガ付クモノトハ政府モ認メテ居リマセヌ、唯、從來此法ノ無カリシ時代ニ比較致シマシテ、此法案成立ノ後ハ相當金融ノ途ガ付キ得ルモノト信ジテ居リマス

○村上紋四郎君 只今ノ政府委員ノ御説明ニ依リマス、此法ガ無キヨリ有ルニ優ルト云フコトデアリマスケレドモ、折角法ヲ拵ヘマシタ以上ハ、成ベク多數ノ人ガ此法ニ依テ利益ヲ受クルコトニシタ方宜クハナイカト思ヒマス、午前中ノ中村君ノ御質問ハ存ジマセヌケレドモ、實際ノ漁業ノ狀態カラ考ヘテ見マスレバ、漁業權ヲ持ッテ居ル者、又ハ網ヲ持ッテ居ル者、船ヲ持ッテ居ル者ト云フヤウナ者ガ集ッテ財團法人ヲ造ルト云フコトガ、一番實地ニ適シテ居ルト思フ、一人ニシテ是等ノモノヲ持ッテ居レバ議論ハアリマセヌガ、一人ニシテ持ッテ居ル者ハ少ク、多クハ漁業權者ト船主トハ皆違ッテ居リマス、今ノ御説明デハ賃借ヲシタ宜イデヤナイカト云フコトデアリマスケレドモ、多クノ地方ハサウ云フ慣例ニナッテ居リマセヌ、賃借ト云フコトデナク、漁業權ニ對シテ網主ヨリ幾割トカ云フ歩合ヲ出スコトニナッテ居リマス、賃借ト云フコトハ私共ノ地方ニハアリマセヌ、故ニ只今申シマシヤウニ各種ノモノ

ガ集ッテ財團法人ヲ造ルノガ最モ實際ニ適シタモノト考ヘマス、政府ハ之ヲ修正シマシタ場合ニハ、別ニ反對スルノ御考ハアリマセヌカ

○堀切政府委員 出來ルダケ多數ノ人ヲシテ利用サセルノガ宜イト云フコトハ無論ノコトデアリマスガ、政府ハ此程度ニ於テ立法致スコトガ、今日ノ我が國情ニ照シテ最モ適當ト認メテ此案ヲ提出致シタノデゴザイマス、ソレカラ賃借ノ習慣ガ無イ、寧ロ歩合ヲ取ルト云フコトデアリマスガ、歩合ト云フモノガ一種ノ賃借デアルト考ヘマス、尙本案ニ修正ヲシタトキニハドウ云フ考カト云フ御質問デアリマスガ、政府ハ本案其モノヲ以テ現在ニ適當ナリト考ヘテ居リマスカラ、修正ニ對シマシテハ遺憾ナガラ御同意スル譯ニ參リマセヌ

○成田榮信君 私ハ大藏當局ニ伺ヒタイト思ヒマス、早速君トハ私交上懇意ノ間柄デアリマスカラ、格別議論ヲ交ヘルコトモ致シマセヌ、端的ニ本案ニ付テ最モ骨子トナッテ居ル所ノ點ヲ御相談的ニ一ツ承ッテ置キタイト思ヒマス、本案ハ提出ノ理由ニ於テ、金融ノ疏通——金融ヲ滑カニシテ斯業ノ發達ヲ圖ルト云フコトガ目的デアル、是ハ洵ニ近來ニナイ農商務當局及大藏當局ニ於カレマシテ、目ノ著ケヤウガ餘程宜シイ、甚ダ私共此點ニ付テ敬意ヲ拂ッテ居ル、併ナガラ村上君ガ只今仰シヤラ

レタ如ク之ヲ死法ニシテハイケナイ、飽マデ生カシテ活用ヲサセナケレバイケナイ、之ニハ此法案ニ現ハレヌ所ノ銀行ニ金ヲ出サヌト云フヤウナル、所謂内部的ニ政府ノ意見ヲ注入シテ置カナケレバイケナイ、之ガ出來テ居ラナケレバ何等私ハ效果ヲ現ハスコトガ出來ヌト思フ、譬ヘテ言ヘバ水道ヲ拵ヘテモ鐵管ガ出來テモ、水ノ供給ヲシナケレバ、皆ガ喜バナイト云フノト同ジヤウニ、其效果ノ現ハレルト云フコトハ、特殊銀行ナリ農工銀行ナリ、何カノ銀行ニ依ッテ此連絡ガ十分ニ行届イテ居ッテ、圓滿ニ内々ノ交渉ガ出來テ居ルト云フコトマデニ行届カヌト云フト、之ガ圓滿ニ行カナイト思フ、從來御承知ノ如ク此水産金融ノ點ニ付テノ缺陷ハ、早速君及農商務當局モ十分御承知ダラウト思フ、是ハ御承知ノ如ク水産方面ノ產額カラ見マシテモ十億以上ノ產額ガアルガ、斯業ニサウ云フ金融ノ機關ト云フモノニ連絡ガ取レテ居ラヌト云フコトハ、是ハ斯業ノ不幸ノミナラズ、大キク申セバ日本ノ社會ノ

國家ノ一大缺陷ト云フモ宜シイ、今ヤ御承知ノ如ク產立國ナドト云ウテ高唱セラレヤウナ時代ニ於テ、單リ水産金融ノ無イト云フコトハ、此多額ナル產額ガアル此事業ニ非常ナル缺陷デアル、之ヲ滑カニシテ極ク卑近ナ例ヲ申サバ、高イ時分ニハ東京デ鰯一皿ガ一圓モスル、之ヲ多量ニ漁獲サシテカ

ラニ安ク賣ルト云フヤウナコトニナレバ、食糧政策ノ上カラ見テモ甚ダ喜バシイコトデアルト思フ、此源ハト云フコトニナリマスレバ、金融ニ關係スルノデアリマス、之ヲ滑カニシテ行クト云フコトヲ圖ラナケレバ、食糧政策カラ言ウテモ、是ハ忍ビナイ話デアル、所ガ從來ノ内閣、歷代ノ内閣ガ此所ニ著眼シテ居ラヌ、今ノ内閣ヲ責メル譯デモ何デモナイ、是ハ歷代ノ内閣ガ所謂此所ニ留意シテ居ナイト云フコトハ、私ハ國家ノ之ガ大缺陷モアルト考ヘテ居ル、ソレデ今同此法案ガ出タラ幸ニ、幾分カ之ニ付テノ方法ヲ御注意ニナッテ居ル際デゴザイマスカラ、此際此時ヲ期シテ、何トカ最モ徹底スルヤウナル方法ニ、非公式デモ宜シイ、勸業銀行ナラ勸業銀行ノ中ニ、水産金融ノ一部ヲ設ケテ、サウシテ之ニ十分ナ理解ノ有ル者ヲ此局ニ當ラシメルト云フヤウナ方法ヲ、大藏省カラ十分ニ御詮議ニナッタガ宜カラウト思フ、只今ノ勸業銀行ノ有様ハ、唯、有名ニシテ實ガナイ、人ト申セバ僅ニ水産ヲ心得テ居ル人ガ

——理事者デ理解シテ居ル者ガ一人モ無イ、斯ウ云フヤウナコトデハイケナイ、五人ナラ五人、七人ナラ七人、十人ナラ十人ナラ中ニ、理事者ノ少クモ三分ノ一位ノ者ハ、此水産ヲ心得テ居ル者ガ居ルト云フ位ニ、之ヲ發達サセナケレバイケナイ、理解ノ出來ル者ヲ置カナ

ケレバイケナイ、從來水産ノコトハ勸銀デアリマスルガ、貸付高ヲ見マシテモ僅カナモノデアアル、何億ト云フ貸付ハ農業者ノ方面ニ向ッテ注入シテ居リマスガ、水産ハト言ヘバ勸銀カラ見レバ僅ニ何百萬圓デアアル、マルデ問題ニハナラヌ、頭ニ置イテ居ラヌ、又理解ガ出来テ居ラヌ、多少ハ出来テ居ルト云フコトヲ言ハレマスルガ、多少ナリトモ出来テ居ラヌ、少シモ理解ガ無い、之ガ現在ノ實情ナシ、是ハ歴代ノ内閣、歴代ノ政府ガ斯様ニ閑却シテ居ッタノデアアル、此議會ニ於テ此問題ガ起キテ來タ場合デゴザイマスカラ、政府當局ハ之ヲ活カシテ此法ヲ活カサウ、活用シヤウ、應用シヤウト云フ御決心、御覺悟ガ有ルナラバ、此非公式ニデモ特殊特定ナル銀行デーツオヤリニナラナケレバ効果ガ無いト云フコトヲ私ハ考ヘテ居リマス、政府ハ如何ナ御考ヲ持ッテゴザルカ、サウシテ吾々ノ考カラ言ヘバ、ドウシテモ是ハ特殊ノ銀行ヲ拵ヘナケレバイケナイト云フ考ヲ持ッテ居ル者デアリマス、政府ハ特殊銀行ノマダ運ビニ至ラナイト云フコトデゴザイマスケレドモ、是ハ何時マデモ閑却スルコトハイケナイ、只今モ申シマシタヤウニ、産額ノ多イニ拘ラズ非常ナル缺陷ニナッテ居ル、此斯業ヲ發達サ、ウト思ヘバ、此金融機關ヲ滑カニシナケレバ發達ガ出来ナイ、危険ナ仕事デアアルカラドウモ金ヲ貸スノニモ困

ルト云フヤウナ御説モアリマセウガ、危険ナリト言ヘバ矢張鑛山ヲヤリマシテモ、危険ダト言ヘバ危険ダ、是ハ學理上實際ノ上ニ於テ、十分ニ安心出来ル知識ノ者ガ居リマスレバ、是ハ十分ニ損ガナイ、現在伊豆ノ方面ニ一ツノ水産バカシノ銀行ガ在ル、水産銀行トカ云フモノガ在ルガ、年ニ一割ナリ一割二分ノ配當ヲシテ居ル、是モ貸付ヲ相當ニヤッテ居ルケレドモ、元ノ資本金ガ少イモノデアアルカラ、多額ナモノハ出来ナイ、其爲ニ僅カナコトシカ出来テ居ナイ、水産銀行ハ御承知ノ如ク外國ノ銀行ニモ例ノ無いコトデアリマスガ、日本ハ御承知ノ如ク地形ノ上ニ於テモ水産ガ非常ニ富ンデ居ル、此意味カラ言ウテモ日本ハ率先シテ此金融ヲヤッテ世界ニ例ヲ示ス位ノ考デオヤリニナラナケレバイケナイ、若シ一步誤ッテ非常ニ此銀行——特殊銀行ガ出来テ、多少ノ損害ガアルニシテモ、國家ノ産業ノ上ニ於テ十分ナ償ヒガ附イテ居ルト云フナラバ、國家ノ大局カラ見テ損害ハ何デモナイ、銀行ガ個人的ニ營利的ニヤッテ居ルト云フコトナラバ、兎ニ角國家ハ大局カラ見テ一ツ此仕事ヲ獎勵スルト云フ意味カラ言ヘバ、多少ノ犠牲ヲ拂ッテモ私ハ是ハ國家ノ爲ニ不利益デナイト思フ、現在ノ日本銀行ナドガ相當ニ澤山ナ犠牲ヲ拂ッテ居ル、斯ウ云フノモノ一ツノ例デアアル、好マシクナイコトデアアルケレドモ、サウ云フコトニ多

少ノ犠牲ヲ拂ッテモ、國家ノ産業ノ發展ニ付テ多少ノ犠牲ヲ拂フト云フコトハ、國家當然ノ任務デアアルト、斯ウ吾々ハ思フ、多クノ議論ハ致シマセヌガ、是ノミデハ——此法案ニ現ハレタノミデハ、是ハ迎モ何所ヘ行ッテモ金ノ疎通ガ出来テ居ラヌ、又連絡ガ取レテ居ラヌ、是ハ動モスルト云フト死法ニナル、折角出来テモ良イ法律ガ出来テモ、此運用ガ總テ充實シナイト云フコトニナルノデアリマスカラ、非公式デモ宜シイガ、特殊銀行ナリ相當ノ銀行ニ於テ、ソレダケノ連絡ヲ取ルト云フ所ノ御決心、御注意ガアルカ否カト云フコトヲ一言、ソレダケヲ質シテ置キタイ

○早速政府委員 成田君ノ御意見ハ御尤デアリマシテ、是ハ屢、行ハレ、此委員會デモ申シタノデアアルガ、從來此水産金融ノ上ニ於テ遺憾ノ點ガアルト云フコトハ、當局者モ認メテ居ル、ソレデアルカラ此法案ハ是ハ農商務省ノ立案デ提出セラレタノデアリマスケレドモ、全ク此法律案ガ提出セラレタノモ、詰リ一步一步水産金融ノ圓滑ヲ圖ルト云フ途ニ進ンデ行キタイト云フ爲ニ、是モ出来タ譯ナノデアリマスカラ、此法律ノ如キモノヲ死法ニ屬セシムルガ如キコトガアッテハナラヌト云フコトハ御同感デアリマス、政府ハ之ヲ十分ニ活シテ使ハナケレバナラヌ、此法律ガ活キテ働カナケレバナラヌト云フコトハ無論ノ話デアリマスカラ、ソレニ對シテハ政府モ無論注意ヲ拂ッテ、將來此法律ガ効力ヲ發揮スルコトガ出来ルヤウニ努メタイト思ッテ居リマス、此法律ヲ拵ヘルノニ先ダッテ、非公式ニデモ特殊銀行ニ對シテ、連絡ヲ取ルト云フヤウナコトヲシタカシナイカト云フヤウニモ、御尋ニナッタノデアリマスガ、政府ガ此法律ガ出来ナイ前ニ於テ、斯様ニシナケレバナラヌト云フコトヲ銀行ニ對シテ注意シタトカ、或ハ命令的ノモノヲ發シタト云フコトハシテ居ラヌノデアリマス、鐵管ガ出来テモ水ガナクテハイカヌト云フ御話ガアッタガ、併シガラ水ガアッテモ鐵管ガナケレバ何ニモナラヌノデ、其前後ハ暫ク爭フコトハ止メテ、政府モ斯ウ云フ法律ガ出来レバ十分ノヲ活用スルト云フコトダケハ御諒解下サッテ宜カラウト思ヒマス

○一柳委員 私ハ本日代リマシタノデ、先ニ委員ノ諸君カラ御尋ニナッテ居ツタカモ知レマセヌガ、極ク簡單ニ伺ツテ置キタイ、本案ガ通過シテ後施行サレタ場合ニ、日本帝國臣民ニシテ外國ノ領土ニ於テ漁業ヲ營ム者ガアッタトシテ、ソレガ本案ニ依ッテ財團ヲ組織スル、ソレハ帝國ノ領土以外ニ於テ營業ハシマスガ、其本社トカ本店トカ云フモノハ帝國内ニアルトシテ、矢張此法ニ據ルモノデアアルカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、一例ヲ舉ゲテ申上ゲマスト、近來露領ノ方面ニハ漁業ガ日本人ノ手ニ依ッテ盛ニ行ハレテ、今後モ益、

盛ニ行ハレルノデアリマスガ、何レモ營業ノ根據地トシテ日本ニ本店ナリ本社ナリヲ置イテ居リマス、又南洋支那ノ方面ニモ發展シテ居リマスガ、此點ニ付テ日本ニ營業所ナリ本店ナリ本社ナリガアル場合ニハ、此法律ニ據ルカドウカト云フコトヲ御伺シタイ

○大濱農商務書記官 私カラ申上ゲマス、只今御質問ノ要點ハ日本ニ本據ヲ持ッテ居リマシテ、サウシテ外國ノ領海ニ於キマシテ漁業ヲスル場合ニ、ソレハ本案ノ適用ヲ受ケルカドウカト云フコトニ承リマシタガ、ソレハ日本ニ本據ヲ有シ外國ノ領土内ニ於テ漁業ヲ營ム、例ヘバ露領ノ樺太或ハ勘察加ノ沿岸ニ於テ漁業ヲ營ミ、或ハ蟹工船ノ方法ヲ以チマシテ漁業ヲ致シマス者ニ付キマシテモ、無論本案ニ依リマシテ漁業財團抵當ヲ設置シ得ル、即チ本案ニ依ッテ利益ヲ受ケマスト云フコトヲ御答シテ置キマス

○一柳委員 モウ一ツ簡單ニ大藏當局ニ御尋シタイと思ヒマス、村上君中村君カラモ繰返シテ御尋デアリマシタヤウデスガ、水産銀行ノ必要ナルコトハ今更改メテ申上ゲルマデモナク、是ハ長イ間ノ問題デアリマスガ、私ハ北海道ニ立場ヲ持チマスガ故ニ、其點ニ付テハヨリ一層痛切ニソレヲ感ズル次第デアリマス、御承知ノ如ク北海道ノ產物ノ半バ漁業ニ依ッテ居ルノデアリマス、特殊銀行トシテハ北海道拓殖銀行

ガアルノデアリマスガ、是等ハ殆ドウ水産業者ニ對シテハ金融ノ途ハナイト申上ゲテ宜シイノデアル、今ヨリ二三十年前ナドハ最モ甚シイモノガアリマシテ、近頃ハ幾ラカ緩和サレテ居リマスガ、漁業家ガ仕込ト申シテ準備ヲ整ヘル前ニ、資本家カラ金ヲ借りル場合ガアリマス、多ク漁獲物、ソレヲ青田ト稱ヘテ、マダ獲リモシナイ品物ヲ賣買ノ契約ヲシテ、金融ノ途ヲ得タモノデアリマス、近頃モソレガ行ハレテ居ル、ソレガ多クハ時價ノ八掛デアリマス、譬ヘテ申上ゲマスレバ一千圓ノモノヲ八百圓ニ賣ッテ前借ヲスルノデアリマス、サウシテソレヲ資本トシテ漁業ヲ營ムト云フヤウナ非常ニ利子ノ高イ割合ニ付クモノデアリマス、又其渡スベキ物ハドウカト申シマス、歩下ゲト申シテ五分或ハ七分、場合ニ依ルト時ノ相場ヨリ一割位安ク渡サナケレバナ

ラス、前ニ金ヲ借りル場合ニハ八掛デ賣ッテ、又受渡ノ場合ニハ品物ニ故障ガ起ルト五分トカ三分トカ云フ値下ヲスルト云フ、苦シイ資本デ營業ヲ續ケテ居ルノガ北海道全道到ル處ト申上ゲテ宜シイデアリマセウ、稀ニハ資本家ノ世話ニナラヌデ獨立デ經營スル人モアリマスガ、大部分ハサウ云フ高利ノ金ヲ借りテ居ル、是ハ全ク金融ノ途ガナイ結果デアリマス、サウシテ其人ハドウカト云フト漁場モ有シテ居リ、船、網モ備ヘテ居ル、サウシテソレガ抵當ナド

ニハナラヌノデアリマスカラ、隨テ高イ金ヲ借りナケレバナラス、此法案ガ出來マシテ財團ガ組織サレルト云フコトハ一ツノ金融ノ途ヲ開クコトニナリマスガ、金融ヲ得ル銀行ガアツテモ、融資ヲシナイト云フコトニナリマスレバ、此法案ハ折角出來テモ活キテ働クコトガ出來ヌト云フコトニナリマシテ、甚ダ遺憾デアリマスガ、是ハドナタノ御希望モドナタノ御意見モ一致シテ居ルノデアリマス、殊ニハ北海道ニハ金融ノ機關ハ一日モ捨テ置クコトハ出來ナイ問題デアリマス、又近クハ樺太ハ我が版圖トナリ、今デハ勘察加ニ向ッテ漁業ノ手ヲ延ベ、年ト共ニ益、盛ニナルノデアリマス、又日露ノ間ニモ修交條約ガ成立シ、吾ニガ其地ニ向ッテ活動シナケレバナラス時ガ目前ニ追ッテ居ル、唯、現在ノ所デハ日露水産組合ガアル、其他ニモ邦人會社トシテ二三アリマス、是等ノモノハ色々ノ物ガ擔保トナッテ朝鮮銀行等カラ隨分不當ナ貸出ヲシテ居ラレルヤウデアル、是ハ餘計ナコトデアアルガ、小漁業者等ハ全クサウ云フ途ガナイノデアリマス、是等ヲ救フニハ此法文ヲ活シテ働カセネバナラス、活カシテ働カセルト云フコトニナレバ、水産銀行ノ必要ガアルト云フコトニ歸著スルノデアリマスガ、現在ニ於テ水産銀行ヲ設立スルコトガ尙早デアルトスレバ、拓殖銀行、即チ特殊銀行ヲ御働カセ下ッテ、十分此法案ノ活

キテ働ク如ク政府ニ於テ御交渉下ッテ、サウシテ彼等ニ安心ヲ與ヘルト云フ途ヲ御開キヲ願ヒタイと思ヒマス、屢、同ジコトヲ繰返スヤウデアリマスガ、北海道沿岸ハ今後益々發展セントシツ、アルノデアリマスカラ、大藏當局ノ御意見ヲモウ一回御伺ヒシテ置キタイと思ヒマス

○早速政府委員 今一柳君ノ御意見モ大體ニ於テ先刻他ノ諸君カラ御述ニナツタノト、其趣旨ハ同様デアリマス、先刻モ申シマシタ如ク、當局者ト致シマシテモ、將來ニ於テ水産業ニ對スル金融ハ益々圓滿ニ行ハレルヤウニ致シタイト云フ希望ハ持ッテ居ルノデアリマス、唯、特殊銀行トカ水産銀行ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、既ニ御推測ニナッテ居ル通りニ、今日ソレハ時機ノ得タルモノデアアルカ、又其必要ガアルトノミ論斷スレバ別問題ニナリマスケレドモ、實際ニ於テ效果ヲ奏スルヤウニ其實ヲ舉ゲルコトガ出來ルカドウカト云フコトモ、尙ホ問題トシテ存シテ居ルト思ッテ居ルノデアリマスカラシテ、是ハ今日ニ於テハ水産ニ關スル特殊ノ銀行ヲ設ケル意思ガナイト云フコトハ、先日モ私が申シタ通りナノデアリマスガ、併シ現在ノ存在シテ居ル機關ヲ十分ニ利用スルト云フ途ヲ攻究シナケレバナラス、即チ此法案ヲ提出セラレタル所以デモアルノデアリマスカラ、其御希望、即チ十分ニ現ニ

第五類第二十六號 漁業財團抵當法案(政府提出)外三件委員會議錄 第二回 大正十四年三月十三日

存シテ居ル金融機關ヲ利用シナケレバナラヌ、利用スルニ付テハ御希望ニ對シテ十分當局ハ承ツテ置キマシテ、出來得ルダケノ力ヲ注ギタイト考ヘテ居リマス

○中村(嘉)委員 今朝カラ私ハ第二條ニ付キマシテ屢々質問致シマシタケレドモ未ダ私ハ腑ニ落チナイノデアリマス、此漁業財團ハ同一人ニ屬スルモノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得、ト斯ウ限ラレテアリマスノハ、實際ノ今日ノ漁業ノ狀態ニドウシテモ適合シナイ、先ニ繰返シテ言ハレタノデゴザイマスガ、矢張綱トカ船トカ漁業權ト云フモノガ別ニニナツテヤツテ居ルノデアリマス、三ツナリ四ツナリ總テヲ持ツテ居ル者モアリマスケレドモ、サウデナイ方ガ多イノデアリマスカラ、何トカシテ之ヲ除キタイト私共ハ思フノデゴザイマスガ、是ハドウシテモ是ヨリカ修正スルコトハ出來ナイト云フ御話デゴザイマシタガ、修正ヲシナイト云フノハ修正ガ出來ナイト云フ法理上ノ根據ガアルノデゴザイマスカ、其處ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、茲ニ御出ノ御方ニハ法理上ノ問題デアルト忌避サレルヤウナコトガアルカモ知レマセヌガ、若シサウデアアルナラバ、司法省ノ方デモ來テ御説明ヲ願ヒタイ、其點——之ガ本法ノ最モ重大ナル點デアルト思ヒマスカラ、忽セニシテ置クベキモノデナイト思フノデアリマス

○堀切政府委員 重ネテノ御質問デスガ、法理上修正シテ惡イト云フ理由ハ少シモアリマセヌ、法理上ハ修正ハ御自由デアリマス、併ナガラ政府ハ今日ノ現狀ニ於テ此程度ニスルコトヲ最モ適當ナリト信ジテ提出致シタノデアリマス、政府ハ多數ニ依ツテ修正セラレヤウトハ少シモ考ヘテ居ナイ所デアリマス

○中村(嘉)委員 ソレデハ政府ハ確信ヲシテ御出シニナツタコトデアリマスカラ、修正ハ前カラ豫期スルコトノ勿論出來ナイト思ヒマスガ、修正ガ多數ヲ以テ通過スルコトニナレバ勿論御異存ナイコト、私ハ信ジテ居リマス

○堀切政府委員 議院ニ於テ多數ヲ以テ修正ヲ受ケヤウトハ、政府ノ夢想ダニセザル所デアリマス

○中村(嘉)委員 ソレハサウ御考ヘニナルノト私共ガ希望スルノト違フノデゴザイマスカラ、ソコハ餘リ追窮シナイ方ガ宜イト思ヒマス、更ニ私ハ斯ウ云フコトヲ御伺ヒシテ見タイノデゴザイマス、今ノヤウナ考ヘデ綱ヲ持ツテ居ル人ハ綱ヲ持ツテ居ル人ガ一ツノ財團ヲ造リ、ソレカラ又漁業權ヲ持ツテ居ル人ハ漁業權ヲ持ツテ居ル人ガ一ツノ財團ヲ造ル、ソレカラ船ヲ持ツテ居ル人ハ船ヲ持ツテ居ル人デ財團ヲ造ル、サウシテ此三ツガ一緒ニナツテ行クト云フコトハ少シモ差支ナイコトデゴザイマスガ、此三ツナリ四ツナリ各々ノ種

類ノ財團ガ出來テ、ソレデ銀行ニ金ヲ借りニ行クト云フコトハ、私共ノ考デハ差支ヘナイコト、思ヒマスガ、當局ハドンナ風ニ御考デアリマスカ

○堀切政府委員 船ヲ持ツテ居ル者ハ船ヲ中心トシテ財團ヲ組織シ、權利ヲ持ツテ居ル者ハ權利ヲ中心トシテ財團ヲ組織シ、而シテサウ云フ人ミガ多數寄ツテ各々ノ資金ノ融通ヲ得テ、サウシテソレヲ合シテ經營ヲ爲サルト云フコトハ是ハ其當事者ノ自由デアリマス、併ナガラ今申上ゲタ通り之ヲ逆ニ權利ヲ持ツテ居ル者ト船ヲ持ツテ居ル者ト其他ノ者ヲ最初ニ一ツノモノニシテ、之ニ依ツテ金融ノ途ヲ得ルト云フコトハ本法デハ出來ナイコトニナツテ居リマス

○中村(嘉)委員 今一寸御話ノアリマシタ後ノ方ヲ能ク聴取リマセンデシタガ、此三ツノ者ガ各々金融ヲスルコトハ出來ナイ、斯ウ仰シヤッタノデアリマスカ

○堀切政府委員 各々自分ノ持ツテ居ル主ナルモノ中心トシテ財團ヲ拵ヘテ、金融ノ途ヲ得ル場合、違ッタ人ミノ船トカ、漁區トカ、權利トカ、併セテ融通ヲ得ルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、即チ是ハ同一人ニ屬スルト云フモノヲ以テ財團ヲ拵ヘル、サウシテ金融ヲ得ルコトニナル、金融ヲ得タ以上ハ其金ヲ合セテ事業ヲ經營スルト云フコトハ、ソレハ無論自由ナコトニナ

ルノデアリマス

○吉原委員長 ソレデハ此漁業財團抵當法案ニ對スル質問ハ是デ打切ツテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○吉原委員長 然ラバ質問ヲ打切りマシテ、明日午後一時半カラ討論ニ入ルコトニシテハ如何デスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○吉原委員長 サウ云フコトニ致シマス——續イテ登録稅法中改正法律案ト、印紙稅法中改正法律案ハ、同一ノ性質デアリマスカラ之ヲ一括シテ議題ニ供シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○吉原委員長 此二案トモ別ニ御異存アリマセヌカ——ソレデハ質問ヲ終了致シマス

○小池仁郎君 私ハ質問ヲ通告シテ置キマシタガ、漁業財團抵當法案ニ付テ質問ヲ御許シテ願ヘマセヌカ

○吉原委員長 一應質問終了致シマシタガ特ニ許シマス

○小池仁郎君 質問終了ノ場合甚ダ恐縮デアリマスガ、財團ヲ組織スルニハ、ドウ云フ手續ヲ以テ組織スルノデスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ或ハ質問ガアツタカモ知レマセヌガ、從來同業組合法ニ依ル水產組合、又水產會法ニ依ル水產會、斯ウ云フモノニハ金融ノ途ト云フモノヲ開イテアリマス、然ルニ實際ノ狀況ヲ見ルト云フト、漁業者

ノ共同ノ利益ヲ保護シ増進スル爲ニハ、水産會、若クハ水産組合ト云フモノハ諸般ノ設備ヲシナケレバナラヌ、其施設ヲスル時ニハ、會員若クハ組合員ノ負擔ニ依ルノデアリマス、別ニ資金融通ノ途ガアルト云フト、共同ノ利益ヲ増進スル上ニ非常ナ効果ヲ現スコト、信ジテ居リマス、其途ガ今マデ一ツモ開ケテ居ラナイ、漁業組合ト云フモノヲ認メラレテ居ルガ、漁業組合ハ極メテ地域ガ狭クナッテ居ル、小サク出來テ居ル區域ノ仕事デアルカラ、全般ニ及ボスト云フコトハ容易デナイ、例ヘバ一郡或ハ一縣トカ云フ方面ニ及ボス効果ハ、矢張水産會トカ、水産組合トカ云フ區域ノ廣イモノガ仕事ヲスル方ガ便利デ効果ガ多イト思ッテ居リマス、其途ヲ開イテナイ、是ハ修正ニナル御考ハアリマセヌカ、或ハ何カ法規ノ上ニ許サレナイ事柄ニナッテ居リマス、其點ヲ御伺シタイ

○大濱農商務書記官 私カラ申上ゲマス、ドウ云フ風ナ手續デ漁業財團ヲ設定スルカト云フコトハ、本法案ノ最後ノ條文ニ於キマシテ、工場抵當法ノ規定ヲ準用サレル結果、大體工場抵當法ト同ジヤウナ順序ヲ履ミマシテ設定サレルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ漁業財團登記部ト云フモノガ區裁判所ニ出來マシテ、ソレニ所有權保存ノ登記ヲ爲シマシテ、之ニ依ッテ財團ヲ設定スルノデアリマス、其他手續法上ノ

コトハ全部——例ヘバ管轄登記所ノ問題、登記簿ノ問題、登記ノ申請、所有權保存ノ登記ト云フヤウナコトハ、工場抵當法ヲ全部準用ノ結果、ソレト同ジヤウナ取扱ヲ受ケルノデアリマス

○小池仁郎君 今漁業財團ノ御答ヲ得マシタガ、漁業財團ト云ヒマス、工場財團ハ工場ト云フ工場ノ總テノモノヲ網羅シタモノデ、之ヲ財團ト看做スト實ハ私モ解釋ヲシテ居ルノデス、ケレドモ漁業財團ト云フモノモ矢張私個人ガ一ツノ漁場ヲ持ッテ居ル、漁業ノ權利ヲ持ッテ居ル、之ニ關スル漁船ガアル、漁具ガアル、建物ガアル、地所ガアル、サウ云フモノヲ一ツノ私個人デ財團ト云フモノニシテ、サウシテ此金融ノ材料ニスル、サウ云フヤウナモノガ集ッテ一ツノ財團トシテ、資金ノ融通ノ途ヲ得ル、是モ財團ト見ルコトガ出來ルト思フ、併シ之ヲモウ少シ明確ニ承ッテ置カナイト之ヲ設置スルコトニ付テ非常ニ迷フト思フ、是ハ施行ノ時ニ於テハ財團ヲ組成スル種類ノモノガアリマス、即チ漁業權又ハ其登錄シタル賃借權、船舶並其ノ屬具及附屬設備、土地及工作物地上權云々、漁具云々、機械器具云々ト總テ有スル物ガ加ハッテアリマスガ、サウスルト此漁業財團ト云フモノハ私個人デ持ッテ居ッテ、財團ヲ組織スルコトガ出來ル、サウスルト現在ノ漁業者ノ金融ノ勵キト云フコト、ドレ程ノ違フ點ガアルカ、今日例ヘバ北海道

ノ拓殖銀行、本州ノ勸業銀行其他ノ金融業者ト資金ノ融通ヲ圖ル時ニ同ジデアル、漁業財團ヲ造ッタ爲ニ、特別ノ金融ノ途ガ十分ニ出來ルト云フコトハ、ドウモ爲シ得ナイ、是ハ金融業者ノ方ニモ何カ必ズシテヤレト云フコトヲ、マサカ政府ノ命令デハ出來ナイ、命令サレテモ貸シタケレバ貸ス、貸ス値打ガナケレバ貸サナイ、漁業財團ヲ造ッテモ其上ニ何カ金融ノ途ガモウ少シ開カレルト云フノデナケレバ、ドウモ滿業財團抵當法ト云フモノ、效果ガ疑ハシイガ、ドウシテ其効果ヲ舉ゲルカ、其方法ヲモウ少シ明確ニ御示シテ願ヒタイ、ソレカラ先刻申上ゲマシタコトハ、農商務省トシテモ大藏省トシテモ當然御取調ベノ筈デアル、水産會ト云フモノハ調ベテアル、是ハ公法人デアル、之ガ資金ヲ借入レル途ハナイ、水産組合モ其通デアル、重要物產同業組合ニ依ッテ制定サレテ、組合ト云モノヲ組織シテアル、或ハ水産組合ト云モノガ共同施設ヲスル時ニ、一々組合員カラ賦課徴收スルコトハ容易デナイ、之ニ資産融通ノ途ガ開ケタナラバ、國家ノ産業上ニモ非常ナル貢獻ヲスルコトガ出來ルト思フ、第一條ノ中ニ「水産物ノ養殖場ヲ有スル者ハ之ニ付抵當權ノ目的ト爲ス」云々トアル、此水産物ノ養殖場ヲ有スルノハ、個人ノ持ッテ居ル養殖場モアル、或ハ組合ノ組織ニ依ッテ拵ヘテアル養殖場モアル、殊ニ北海道ニ於キマシ

テハ養殖場ト云フモノ個人ノモノハ極メテ小規模ノモノデアアル、又其關係方面モ極メテ狭小ノモノデアアル、之ニ反シテ漁業組合ノヤッテ居ルモノハ國家的デアアル、普遍的デアアル、斯ウ云フモノニ對スル資金融通ノ途ヲ開クト云フコトハ、ドウシテモモット急イデシナケレバナラヌト考ヘテ居ル、此點ニ付テ當局者ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ルカ、其途ハ此漁業財團抵當法ニ依ッテ其途ガ開カレルカ、其點ヲ承リタイノデアリマス

○大濱農商務書記官 只今小池サンカラノ御質問ガアリマシタ、水産會ノヤウナモノハ、御説ノ通り公法人デアリマシテ、之ニ對シテハ漁業財團抵當法ノ適用ノナイコトハ、其性質上已ムヲ得ナイコト、考ヘテ居リマス、併シ水産會或ハ水産組合ト云フモノニ、モウ少シ資金ノ融通ノ途ヲ付ケ或ハ之ヲ善導シテ水産業ノ發達ニ如何ニシタナラバ貢獻シ得ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、是ハ漁業組合法其他ノ關係或ハ漁業法全般ノ問題ノ上カラシテ、是ハ漁業法ノ改正ト云フコトニ付テ適當ニ顧慮シテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ御願致シマス、ソレカラ養殖場ノ問題ニ付キマシテハ只今モ御話ガアリマシテ御尤ナ次第ト存ジマスガ、本案ニ依リマスと云フト、財團ヲ設定シ得ル養殖場ト云フモノハ、是ハ個人ナリ或ハ會社ナリノ持ッテ居ル所ノ養殖場

第五類第二十六號 漁業財團抵當法案(政府提出)外三件委員會議錄 第二回

ヲ中心トシタ場合ノ立テ方デアリマシ
テ、隨テ先程モ申上ゲマシタ通り公法
人ノ有スル所ノ養殖場ニ付キマシテ
ハ、其適用ガナイノデアリマス

○小池仁郎君 サウスルト只今ノ公法
人デアル水産會ト云フモノハ、之ニ依
テ適用ヲ受ケナイ、ソレナラバ相當ニ
法人ガ資金ヲ造ル途ガアリマスカドウ
デアリマス、ソレカラ重要物産同業
組合法ニ依ッテ此組合ガ金融ノ途ヲ圖
ル途ガアルカナイカ、此二點ヲ御尋致
シマス、其次ハ勸業銀行法、若クハ北海
道拓殖銀行法、或ハ興業銀行法、サウス
フモノ、法律ノ中ニ、水産會、水産組合
漁業組合ハ確カ這入ッテ居ルト思
ヒマス、サウスフモノヲ加ヘルト云フ
コトガ出來マスカドウカ、又ソレヲ加
ヘルト云フ御方針ガアルカドウカ、其
點ヲ御尋致シマス

○早速政府委員 水産會等ノ公法人ニ
對シテ別ニ金融ヲスル途ガアルカ、斯
ウ云フ御尋デアリマスガ、今日ニ於テ
ハ別ニ途ガ開ケテ居ラスデス、ソレカ
ラ勸業銀行トカ、或ハ農工銀行ト云フ
ヤウナモノガ、法律沿革ニ於テ只今御
述ニナッタヤウナモノモ加ヘテ、サウシ
テ金融ノ途ヲ開ク意思ガアルカト云フ
御尋デアッタと思ヒマスガ、是ハ今日熟
慮スベキ問題デアッテ、今ノ所之ニ對シ
テサウスフヤウナコトヲスルト云フ具
體的ノ案ハ出來テ居リマセス、將來ニ
於テハサウスフモノヲドウスルカト云

フコトハ、是カラ更ニ考慮ヲ要スルコ
ト、信ジテ居リマス

○小池仁郎君 只今ノ大藏省ノ政府委
員ノ御答辯ガアリマシタガ、公法人ニ
ハ既ニ金融ノ途ヲ開イテアリマス、故
ニ町村ノ如キハ町村内ノ人ノ爲ニソレ
ゾレ途ヲ開イテ居リマス、産業ノ方面
ニ貢獻スル爲ニ出來テ居ル水産會、若
クハ水産組合、而モ其施設ハ共同ノ利
益ト云フ方ニ行ケバ、國家ノ利益トモ
ナルベキ施設ヲスルモノニ其途ノ開ケ
テナイコトハ、甚ダ遺憾ノ事デアリマ
ス、只今御考慮ダト云フコトデアリマ
スカラ、私ハ其考慮ニナッテ居ルコト
ヲ、速ニ實現セラル、コトヲ希望シテ
此質問ヲ終リマス、先ニ農商務政府委
員ノ御答デハ、水産會ニハサウスフ途
ガナイト云フ、サウスルト同業組合法
ニ準ジテ出來テ居ル水産組合ノ持ッテ
居ル養殖場ハ、漁業財團ト爲スコトガ
出來ルカ出來ナイカ、其點ヲ御尋シマ
ス

居リマス

○大濱農商務書記官 水産組合ノ性質
上是ハ公法人ト爲スベキモノデアリマ
シテ、本法ノ適用ハナイモノト考ヘテ
居リマス

資金ノ融通ヲ圓滑ナラシムル途ヲ講ズ
ルコトガ、刻下ノ急務デハナイカト信
ジマス、是ハ農商務當局ニ於テモ御異
論ガナイト信ジテ居リマス、只今マデ
其施設ノナイノヲ遺憾ト致シマス、願
クハ速ニ其調査ヲ遂ゲラレテ、サウス
フ方法ヲ開カレルコトヲ希望致シテ質
問ヲ打切りマス

○堀切政府委員 只今ノ御意見ハ農商
務當局ト致シマシテハ、出來得ルダケ
左様ナ方面ノコトニ將來考慮ヲ致シ、
又施設ヲ致シタイ考デアリマス

○吉原委員長 ソレデハ本案ノ御質問
ハ是デ終了シタコトニ致シマス、法律
第四十一號ヲ議題ニ供シマス

○早速政府委員 此案ハ先日本會議デ
申述ベタ通りデアリマシテ、今回行ヒ
マシタル行政整理、又ハ軍備整理ニ際
シテ、官ヲ退キ職ヲ退イタ者ニ交付ス
ル公債ヲ發行スルコトニ關スル法律ヲ
制定致シタイト云フ趣意カラ提案ヲ致
シタノデアリマス、是等ノ一時ニ退官、
退職ヲ致シタ者ニ對シマシテハ、今日
ノ場合適當ノ待遇ヲ與フルコトノ必要
ナコトハ申スマデモナイ所デアルト考
ヘマスノデ、是ハ前年行政整理ヲ行ッテ
退官退職ヲセシメタ者ニ、相當ノ待遇
ヲシタト云フ先例モアルコトデアリマ
スカラ、主トシテ此先例ニ依リマシテ
退官退職ヲシタ者ニ對シテハ、ソレゾ
レ特別ノ資金又ハ手當ヲ支給スル計畫
ヲ立テタノデアリマス、其特別資金ハ

財政計畫上一部分ヲ除クノ外ハ、公債
ヲ以テ交付スルコトニシタ、一部分ト云
フノハ現金支給與スルモノデアリマ
ス、即チ一部分ハ現金、大部分ハ公債ヲ
交付スルコトニ致シタイノデアリマス、
其金額ハ總額五千萬圓デ、此法律案ハ
此五千萬圓ヲ限ッテ公債ヲ發行スルコ
トニ關スル法律案ナノデアリマス、趣
意ハ只今申ス通りデ大體諸君ノ御了解
ヲ得ルコトガ出來ルデアラウト思ヒマ
スガ、尙ホ質問ニ應ジテ申上ゲルコト
ハ辭シナイノデアリマスガ、一寸概略
ヲ申シテ置キマス、整理ニ因ル退職
者ノ總員ハ四萬九十三人、之ニ支給ス
ル資金及手當ガ四千三百四十三萬六千
五百四十一圓、此中現金支給スル額
ハ是ハ豫算ノ方ニモ出テ來マスガ、豫
算ノ方トハ端數位違ッテ來ルカト思ヒ
マスガ大體ハ同ジデアリマス、現金支
給ノ分ガ二百八十三萬三千三十七圓、
ソレカラ公債支給スル分ハ公債ノ端
數ハ現金支給スルノデスガソレガ四
十九萬六千五百六十一圓、此二ツヲ合
セテ三百三十二萬九千五百九十八圓、
從テ此三百三十二萬圓ヲ差引イタ四千
十萬六千九百四十三圓ガ公債支給ス
ル分ニナルノデアリマス、所ガ此公債
ヲ以テ支給スルニ付キマシテハ、從來
ノ例ニ依リマシテモ、公債ノ價格ハ大
體ニ於テ時價ヲ參酌シテ定メルコトニ
ナッテ居ルノデアリマス、今回モ此
例ニ依ッテ時價ヲ參酌シテ此價格ヲ定

メルコトニシタイト思フノデアリマス、申ス迄モナク公債ノ價格ハ時々高低ガアルノデアリマス、ソレデ既往ノ或ル期間ノ間ノ相場ヲ標準トシテ之ヲ決定スルヨリ外ニ仕方ガナイノデアリマスガ、先ヅ戰後ノ大勢ヲ公平ニ觀察ヲシテ、成ベク交付スル際ノ時價ニ一致スルヤウナ價格ヲ得テ、ソレデ交付スル價格ヲ定メタイト云フ政府ノ方針デアルノデアリマス、既往ノ一年間ニ於ケル雜五分利ノ公債ノ市場ノ相場ハ、震災直後ニ於ケル當時ハ八十二圓臺ニナツテ居リマス、ソレカラ大正十三年ノ一月乃至三月頃ニ於ケル八十四圓臺ノ場合モアッタノデアリマスガ、此八十四圓トカ八十二圓ト云フヤウナ相場ノアツタ其當時ヲ除クト、其他ノ各月トモ大概ハ八十三圓臺ニナツテ居ルノデアリマシテ、最近ノ數箇月ハ八十三圓ト云フノガ固定シタ相場ニナツテ居ルト云フ狀態デアリマスカラ、今回ハ先ヅ此八十三圓ト云フ所ガ最モ時價ニ近イ適當ノ價格デアラウト考ヘマシテ、此公債ノ交付價格ヲ定メルニハ、先ヅ八十三圓トシテ定メルノガ適當デアラウト考ヘルノデアリマシテ、此八十三圓ニ換算ヲ致シマスルト、前申ス公債ノ四千六百九百四十三圓ト云フモノガ四千八百三十二萬千六百十九圓、斯ウ云フ金額ニナル、玆デ一寸御斷リ致シテ置キマスガ、現金支給ノ額ナドハ明日カ明後日アタリ追加豫算ニ現レテ來

ル筈デアリマスガ、現金ノ支給金額ノ端數ハ多少變ルカモ知レマセヌガ、ソレハ御許シテ願ヒタイ、併シ大數ハ變リマセヌ、ソレハ御含テ願ヒタイ、ソレデ是ダケノ公債ヲ發行シナケレバナラヌノデアリマス、添ヘテ申シテ置キマスガ、然ラバ公債發行ノ金額ハ四千八百萬圓デ足りハシナイカ、斯ウ云フ御尋ガアリハシナイカト思ヒマスガ、是ハ前ニモ例ガアルノデアリマスガ、多少後カラ色々ノ事ガ出テ來ルト云フ事例モアルノデアリマシテ、退職者ハ十四年度バカリデナク、十五年度ニ於テモ、十六年度ニ於テモ、陸軍或ハ文部省ニ於テ整理ノ人員ヲ出スノデアリマス、ソレデアリマスカラ、人ノ數モ殖エテ來テ多少金額ガ殖エテ來ルカモ知レナイ、併ナガラ五千萬圓程度ニシテ置ケバ勿論不足ヲ告ゲルコトハナイノデアリマス、大體ハ先ヅ只今申シタ通りデアリマス、尙ホ御質問ニ依ツテ御答ヘ致シマス

○中村(嘉)委員 只今ノ御説明デ大體分リマシタガ、今迄ノ御整理ハ第一次第二次ノ整理マデハヤラレタノデアリマスガ、第三次ニ於テハ略ドノ位ノ御整理ヲナサル積リデアルカ、其第三次ノ整理退職資金ハ、今御話ニナツタ百五十萬圓バカリ殘ルノデ足りル御見込デアリマスガ、或ハ新ニ公債ノ發行ヲ爲サル御考デアリマスガ

○早速政府委員 一寸申上ゲマスガ、早速政府委員 一寸申上ゲマスガ、

此一次二次三次ト云フ風ニ御區分ニナツテ居リマスガ、實ハ十四年度内デヤルノガ第一期第二期第三期ト分レテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ無論此十四年度内デ整理スル分ニ當リマシテハ、大體ノ數字ハ決マツテ動キマセヌ、人員モ動キマセヌ、十五年度十六年度ニ涉ル分ハ、大數ハ先ヅ動カヌ積リデアアルノデアリマス、第一次第二次第三次ト仰シヤルノハ、十四年度分ニ付テバアリマス、其人員ハ一般會計ト特別會計ト合シマシテ三萬九千五百五十三人、之ガ官吏カラ雇員ニ至ル全部ノ人員デアリマス、ソレカラ十五年度分ハ是ハ陸軍省ト文部省ニシカ關係ハアリマセヌ、極ク僅カナモノデアリマスガ、之ガ四百二十五人、ソレカラ大正十六年度分モ陸軍ト文部省デアリマスガ、是ハ僅ニ百十五人、此三年度分ヲ合シマスルト四萬九千三百三人ニナルノデアリマス、ソレカラ公債ハ五千萬圓デ餘ル計畫デアリマス、餘ッタラ公債ヲ控ヘルダケデアリマス、是ハ交付公債デアリマスカラ隨時發行シテ行クコトガ出來ルノデアリマス

○中村(嘉)委員 サウシマスルト、十六年マデト言ハレマスガ、大正十六年ノ何月何日迄ト云フ風ニ期日ガ定マツテ居ルノデアリマスガ、若シ其期日ガ過ギルト退職資金ガ貰ヘナイヤウニナルノデアリマスガ、其邊ハ……

○早速政府委員 一寸一次二次ト御述

ニナツタノニ付テ申シテ置キマスガ、行政整理ヲヤリマスノハ、人員整理ヲ行ッタルノガ第一期デ昨年ノ十一月一日カラ二十五日迄、ソレカラ第二期ガ昨年ノ十二月一日カラ十五日迄ニ行ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三期ト云フノハ此三月十五日カラ四月一日迄ノ間ニ行フコトニナツテ居ルノデアリマス、十五年度十六年度ニ這入ッテ行ヒマスルノハ、文部省ト陸軍省デ、此整理ガドウシテモ一時ニヤルコトガ出來ナイデ、十五年度或ハ十六年度ニ幾ラカ殘ッテ行ク、ソレカラ學校ニ關スル人ノ整理ガ矢張勢ヒ一時ニソレヲ罷メルコトガ出來ヌ爲ニ殘ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、大體ノ人數ハ私ガ動クカモ知レヌト申シマタケレドモ、大體ノ人數ハ今日カラ既ニ決マツテ居ルノデアリマス、唯、學校邊リハ矢張繼續シテ仕事ヲシテ居ル者ヲ、今年度ノ中ニ首ヲ齧ル譯ニ行カヌト云フ點モアリマス、併シ大體ノ人數ハ今申シタ通り動カヌ筈デアリマス

○中村(清)委員 整理ノ人員ハ四萬九十三人、之ニ對スル賜金ノ總額ヲ承リマシタガ、此賜金ニ付キマシテハ、大正十一年ニ行ハレマシタモノト、略、標準ハ同一デアリマセウカ、又ハ或ハ増シ或ハ減シテ居ル次第デアリマスガ

○早速政府委員 實ハ大正十一年ノ整理ノ時ト標準ハ大抵同ジデアリマス

○中村(清)委員 四萬九十三人ト云フ

者ハ、幸ニ斯ノ如キ大整理ガアリマシ
タカラ、賜金ヲ支給サレルノデアリマ
シテ、是ハ悉ク今回ノ行政整理ニ因ル
モノカモ知レマセヌガ、私等ノ見ル所
ヲ以テシマスレバ、必ズ毎年幾ラカノ
老朽淘汰、若クハ自ラ退ク者ガアルト
思フノデアリマス、此人員ノ中ニハ老
朽淘汰ト云フヤウナ者ハ一人モ無イ、
悉ク整理ノ結果ニ因ルモノト看做シテ
宜シイノデゴザイマスカ、其點ヲ伺ヒ
マス

○早速政府委員 全ク是ハ整理ノ結果
ニ因ッテ斯ウ云フ人ガ減ッタト云フコト
ニナッテ居ルノデアリマシテ、勿論整理
ヲ致シマスニ付キマシテハ、若イ者モ
年ヲ取ッタ者モ居ルト云フコトニナリ
マスレバ、先ツ年ヲ取ッテ居ル者カラ整
理ヲシテ行クト云フ順序ニナッテ居リ
マスカモ知レマセヌガ、是ハ自然ニ減
ツタト云フモノデナクシテ、整理ノ結
果減ッタト云フコトニハ間違ナイノデ
アリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス
○中村(清)委員 既ニ支給ニナッテ居
ル賞與ノ金ハ、是ハ察スルニ俸給ノ殘
額カラ支出シタモノト思ヒマスガ左様
承知シテ宜シウゴズイマスカ

○早速政府委員 全ク左様デアリマ
ス、俸給等ノ殘額ノ中カラ賞與ヲ支給
シタ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデア
リマス、左様御承知ヲ願ヒマス支給ス
ル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデア
リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○吉原委員長 モウ御質問ハアリマセ
ヌカ——御質問ガ無ケレバ本案ノ質問
ハ之ヲ以テ打切ト致シマス、ソレデ明
日ノ議事ニ付テ御相談ヲ致シマスガ、
先刻一時半ト申上ゲマシタケレドモ速
記ノ方ノ都合ニ依リマシテ、一時半デ
ハ困ル、明日ナラバ三時乃至四時ノ間
ニシテ貰ヒタイ、左モナケレバ十六日
ニシテ貰ヒタイト云フ速記ノ方ノ都合
デアリマスガ、ドウ致シマセウカ

〔明日ノ三時ニシテ貰ヒタイ〕
ト呼フ者アリ

○吉原委員長 ソレデハ大體明日ノ三
時ト云フコトニシマシテ、若モ亦其頃
議場ヲ離レ得ナイヤウナコトガアレ
バ、二十分ヤ三十分延バスカモ知レマ
セヌ、大體三時ト云フコトニシテ……
○中村(清)委員 樺太廳ノ人ニ出テ貰
ヒタイ、今日午前モ午後モ見エマセヌ
デシタ、ソレダケ御頼ミシテ置キマス
○吉原委員長 承知致シマシタ、ソレ
デハ之ヲ以テ今日ハ散會致シマス

午後三時四十一分散會